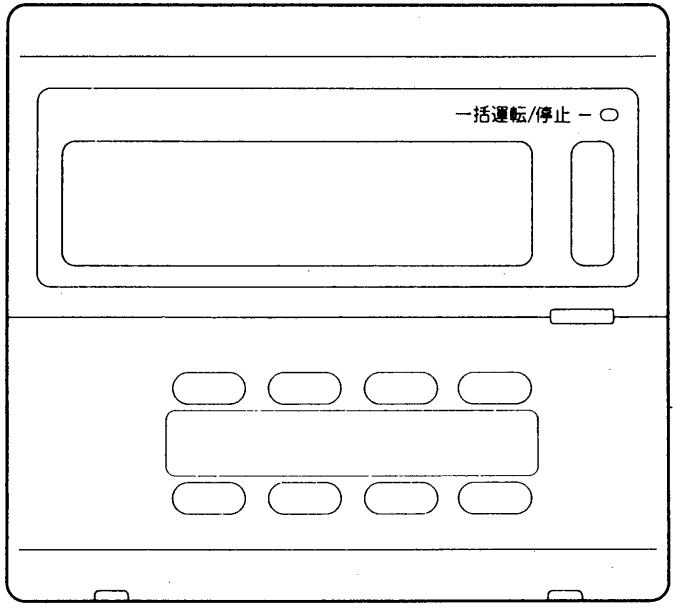
MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム
ファンコイルグループリモコン
WC-002FGR
取扱説明書



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

ページ

(1) 安全のために必ず守ること …… 1
(2) 製品の機能 …… 3
(3) 各部の名称とはたらき …… 5
(4) 日常の操作 …… 7
1．一括運転／停止 …… 7
2．グループ別運転／停止 …… 8
3．運転モード、設定温度、風速、タイマーの設定 …… 10
3-1 一括設定画面の呼び出し …… 10
3-2 グループ別操作設定画面の呼び出し …… 12
3-3 各項目の設定操作 …… 14
(5) フィルタークリーニングサインリセット …… 17
(6) 異常が発生した場合 …… 20
(7) システムの初期設定 …… 21
1．システム制約 …… 21
2．給電の開始 …… 23
3．初期設定操作 …… 23
3-1 初期設定モード画面の呼び出し …… 24
3-2 初期設定モード画面の終了 …… 25
3-3 グループ設定 …… 26
3-4 連動設定 …… 32
3-5 一括抹消 …… 45
(8) 自己診断・異常履歴 …… 46

1 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●誤った取扱をしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結び付く可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの。

●お読みになった後は、据付説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書と据付説明書をお渡しください。

⚠警告

据付け状態を確認する。
本機が落下しないよう、堅固な場所に固定されていることをご確認ください。

定格の電源になっているか確認する。
火災や故障の原因になります。

異常時は運転を停止する。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

お客様自身で本機を廃棄しない。
本機を廃棄する場合は、販売店にご相談ください。

本機にエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を停止する。
そのままにしておくと火災や故障の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

本機の周りに危険物を置かない。
可燃性ガスの漏れる恐れがある場所への設置は行なわないでください。万一ガスガ漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

特殊用途に使用しない。
この製品は、三菱電機ビル空調管理システム用です。
他の空調機管理あるいは別の用途に使用しないでください。
誤動作の原因になることがあります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない。
可燃性スプレー等を本機の近くに置いたり、本機に直接吹きかけないでください。
発火、爆発の原因になることがあります。

本機をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない。
変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

ボタンを先のとがったもので押さない。
破損、故障の原因になることがあります。

リモコンコードを引っ張ったり、捩ったりしない。
火災、故障の原因になることがあります。

使用温度範囲を守る。
使用温度範囲を守ってください。使用温度範囲から外れたところで使用しますと故障の原因になることがあります。
使用温度範囲は取扱説明書の仕様表をご確認ください。
また、取扱説明書に記載がない場合は0℃～40℃となります。

本機を分解しない。
内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になることがあります。

2 製品の機能

1．特徴

- 本機で、16台までのファンコイルユニットを操作できます。
- 最大で８個のグループにファンコイルユニットを割り振り、操作できます。
- １グループに２台までの連動機（ロスナイ等）を割り振り、操作できます。
- 操作部ドアを閉じた状態で次の操作ができます。
  - グループ別運転／停止 …… 各グループ独立したボタンで行ないます。
  - すべてのグループを運転／停止 … 一括運転／停止ボタンで行ないます。
- 操作部ドアを開けた状態で次の操作ができます。

  操作は各グループごとまたはすべてのグループを一括して行ないます。
  - 各種設定操作 …… 運転／停止、運転モード、室温調節、風速切換、外部タイマーの設定等。

2．本機の機能

機能			内容
通常機能	操作※	運転／停止	本機に登録されているユニットの運転／停止を行ないます。
		運転モード	冷房／除湿／送風／(自動)／暖房／換気の切換え操作ができます。
		設定温度	温度設定操作ができます。 設定温度範囲 { 冷房／除湿運転時 : 19℃～30℃ 自動運転時 : 19℃～28℃ 暖房運転時 : 17℃～28℃
		風速切換	強／中／弱／自動の風速切換えができます。
		タイマー運転	別売のスケジュールタイマー（ＰＡＣ－ＳＣ31ＳＴ）を使用してスケジュール運転有効／無効の切換操作ができます。
		フィルターリセット	フィルター清掃後にフィルターの表示を消します。

※操作は、全グループ一括または各グループごとに行なえます。

機能			内容
通常機能	モニタ	一括運転／停止	運転／停止ランプにて表示します。
		グループ別運転／停止	液晶に表示します。
		運転モード	
		設定温度	
		タイマー運転	
		フィルターサイン	
		風　速	
		本機に対する操作禁止	
		異　常	異常発生中のユニットのアドレスと異常コードを液晶に表示します。
初期設定機能	操　作	グループ設定	ユニット（ファンコイルユニット・ファンコイルリモコン）のグループ設定を行ないます。
		連動設定	ファンコイルユニットと他の連動機（ロスナイ等）との連動設定、及び連動機専用リモコンの接続設定を行ないます。
	モニタ	異常履歴	最新の異常内容を過去にさかのぼり最大で10個まで表示します。
システム制約	登録台数	ファンコイルユニット台数	最大16台
		連動機台数	最大16台
		１グループのファンコイルユニット台数	最大16台
		１グループに連動運転できる連動機＝連動機１の台数	最大１台 （ロスナイ、フィルターユニット、エアハンドリングユニット、ＣＡＶユニット）
		１台の連動機１と連動運転できる連動機＝連動機２の台数	最大１台 （ロスナイ、フィルターユニット、エアハンドリングユニット）

3 各部の名称とはたらき

1．操作部ドアを閉じた状態

ドアを閉じた状態では、次の操作を行なうことができます。
- ●一括運転／停止操作　　：登録されているユニットすべてを一括して行ないます。
- ●グループ別運転／停止操作：各グループごとに運転／停止を行ないます。
- ●各操作につきましては（　）で示すページに記載してあります。

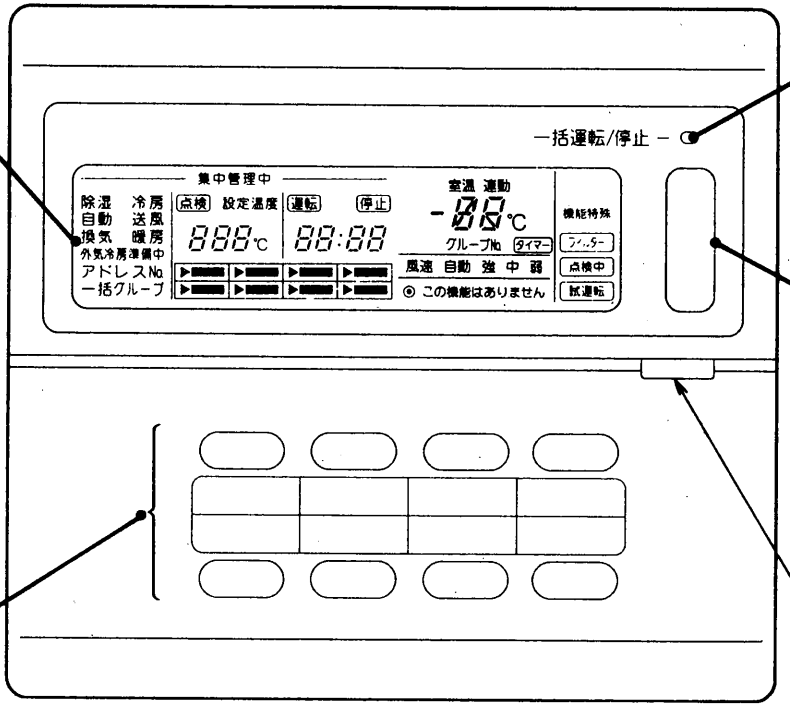
（リモコンのイラストは説明のため すべての表示が点灯した状態を示 したもので実際とは異なります。）

液晶表示部

操作内容、設定内容等を表示します。

一括運転／停止ランプ

点灯：１グループ以上運転中
消灯：全グループ停止中
点滅：登録ユニット異常



一括運転／停止 ボタン（P７）

全グループ停止中に押すと全グループ運転となり、１グループ以上運転中に押すと全グループ停止となります。
また異常表示の一括解除を行ないます。

グループ別運転／停止 ボタン（P８）

グループごとに運転／停止を行ないます。
また、グループごと異常表示の解除を行ないます。

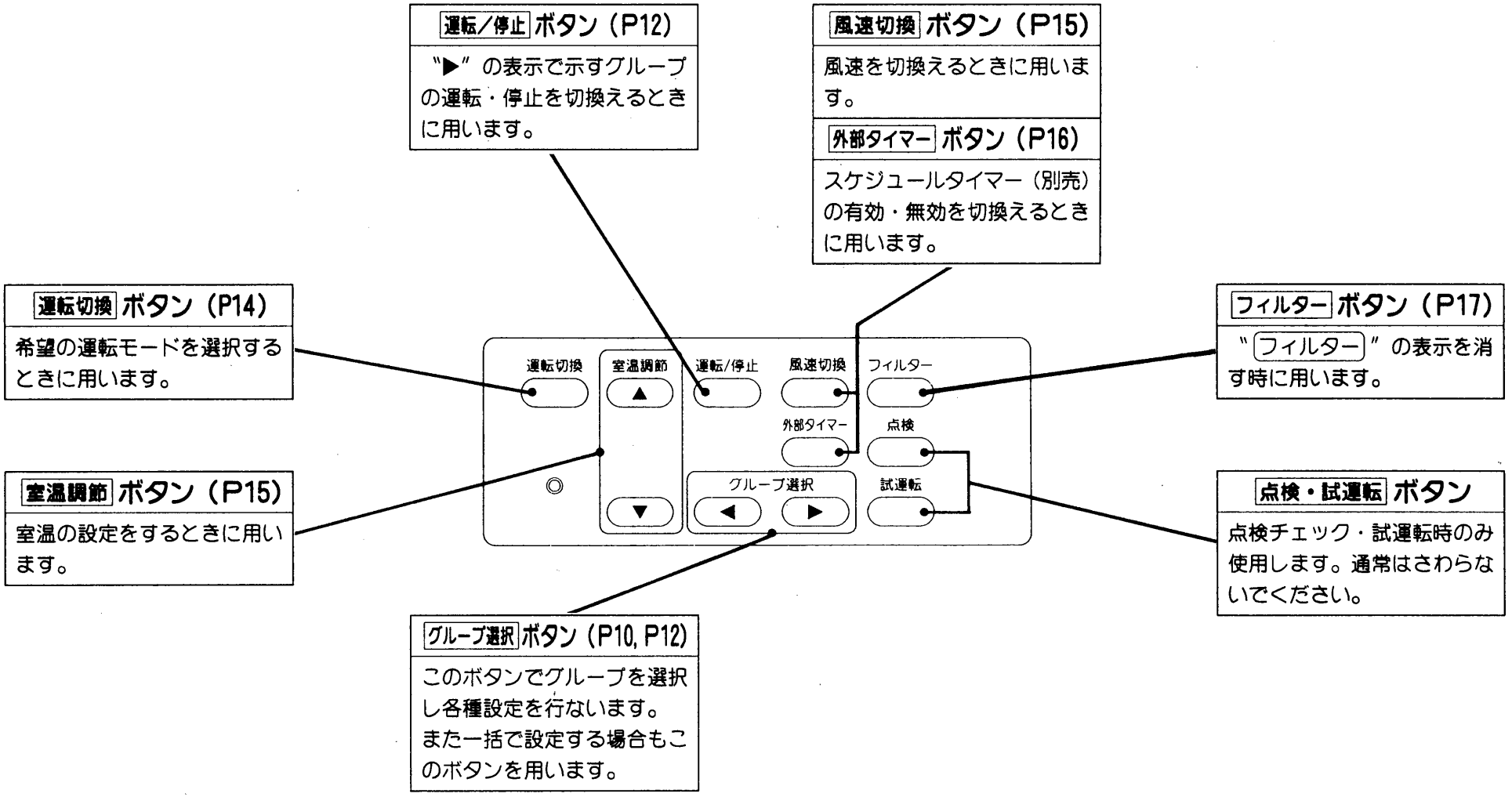
操作部ドア

（次ページに開けた状態について説明します。）

2．操作部ドアを開けた状態

ドアを開けた状態では、次の操作を行なうことができます。

- ユニットの各設定　　：運転モード、温度設定、風速切換
- タイマー運転切換え　　：スケジュールタイマー（別売）の有効／無効を選択。
- 一括／グループごとの運転／停止操作
- 点検・試運転・フィルターサインリセット



4 日常の操作

- 本機の操作について説明します。
- 操作するボタンは（　）で、液晶の表示は〝　〟で説明します。
- なおグループNo.が１～８の場合で説明します。

1．一括運転／停止

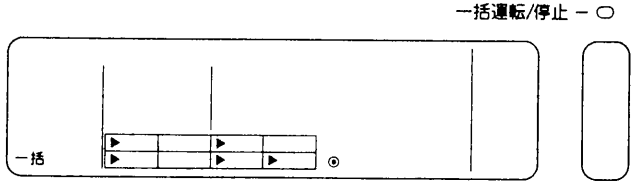
- 本機で管理するすべてのグループを一括して運転／停止します。

（一括運転／停止）ボタンを押します

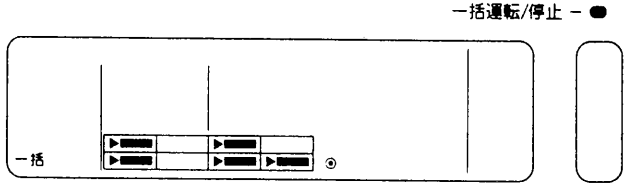
- 登録ユニットが１台以上運転している場合は、すべてのユニットが停止します。
- 登録ユニットすべて停止している場合はすべてのユニットが運転します。
- 他の上位システムコントローラの設定で本機の運転／停止操作が禁止されている場合〝－集中管理中－〟が点滅し、操作できないことをお知らせします。

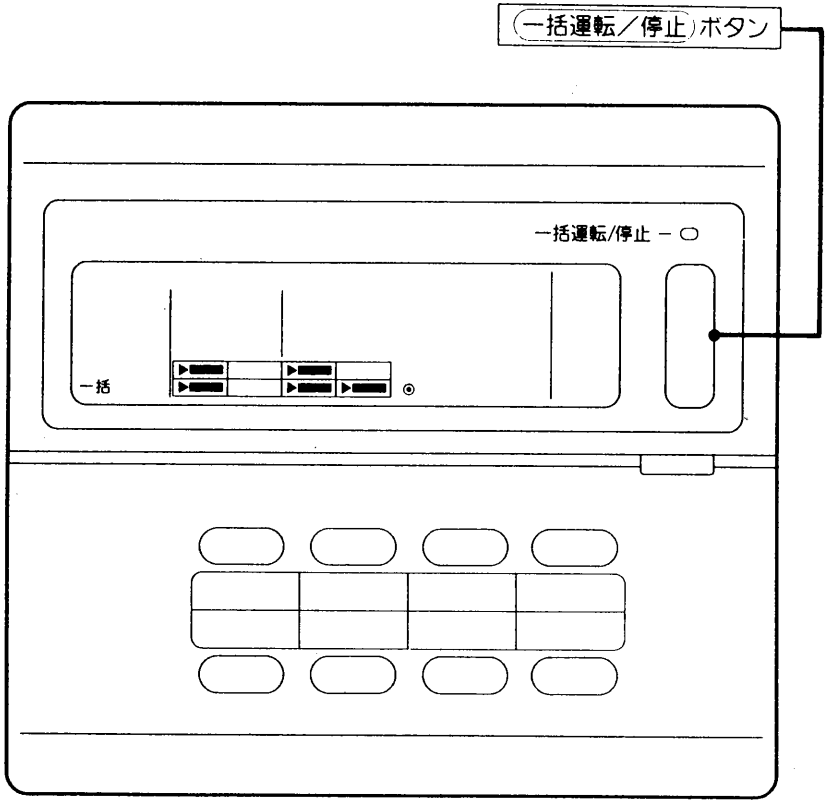
表示例 一括モニタ画面

〈停止中の場合〉



〈一括運転中の場合〉





2．グループ別運転／停止

●本機で管理するユニットをグループごとに運転／停止します。

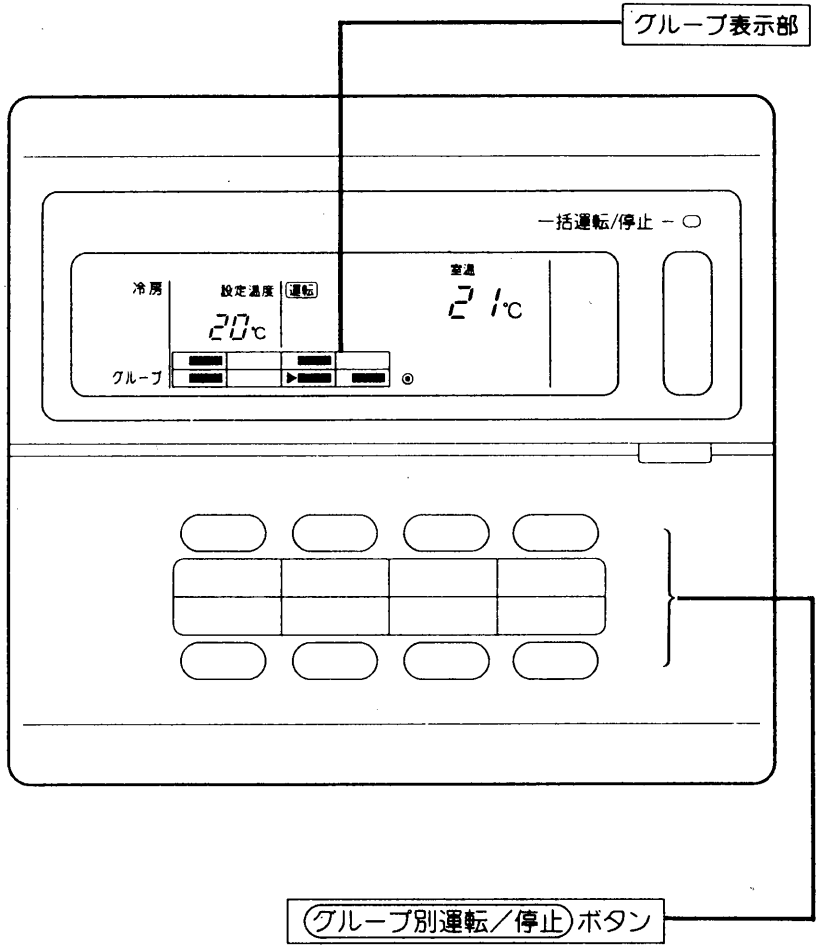
グループ別運転／停止ボタンを押します

- グループ別運転／停止ボタンを押したグループは運転→停止、または停止→運転に切換わります。

- ボタンの配列は液晶のグループ表示部の割付けと同じです。運転を行ないたいグループのボタンを操作してください。

- 液晶表示部は最後にグループ別運転／停止ボタンを押したグループの運転状態を画面に表示します。
  （グループ別設定／モニタ画面→次のページ）

- 他の上位システムコントローラの設定で本機の運転／停止操作が禁止されている場合、"－集中管理中－"が点灯します。このときに操作しますと"－集中管理中－"が点滅し操作できないことをお知らせします。



表示例 グループ別設定／モニタ画面

●グループ表示部の内容
　"▬"……運転しているグループの箇所に点灯
　"▶"……選択したグループの箇所に点灯

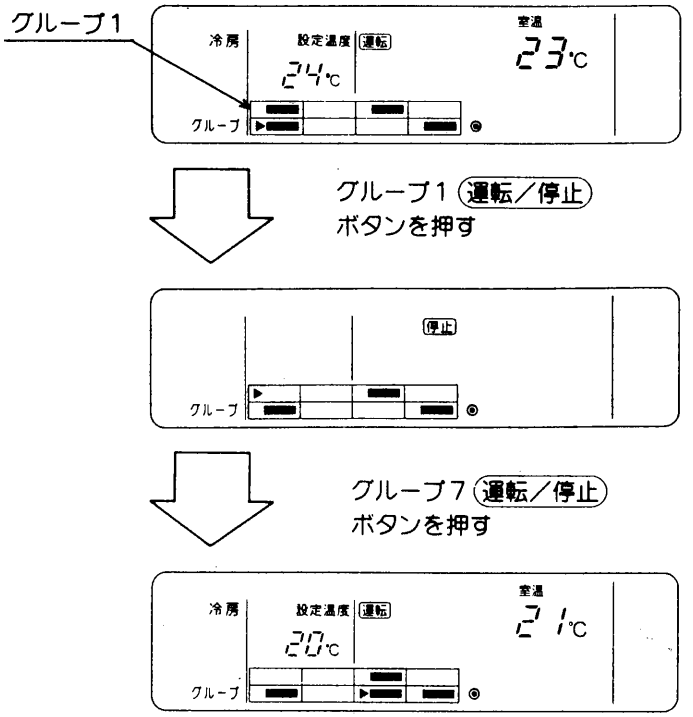
●その他の液晶表示部は"▶"で示したグループの操作設定内容を表示します。

〈グループ１停止の操作を行なった場合〉

●グループ１に"▶"が点灯して"▬"が消灯し、同時に"停止"が点灯します。
●グループ３、５、８は運転中です。

〈さらにグループ７運転の操作を行なった場合〉

●グループ７に"▶"、"▬"が点灯、同時に"運転"が点灯します。
●グループ３、５、８は運転中です。



3．運転モード、設定温度、風速、タイマーの設定

●すべてのグループのユニットを一括して設定する場合には、〝3-1 一括設定画面の呼び出し〟を行なってから〝3-3 各項目の設定操作〟を行なってください。
●グループごとに設定をする場合には、〝3-2 グループ別操作設定画面の呼び出し〟を行なってから〝3-3 各項目の設定操作〟を行なってください。

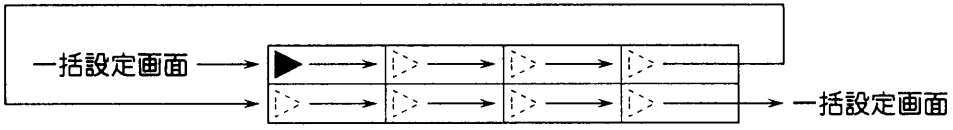
3-1 一括設定画面の呼び出し

1	Ⓐ(操作部ドア)を開けます

2	Ⓑ(グループ選択)ボタンで一括設定画面を表示します

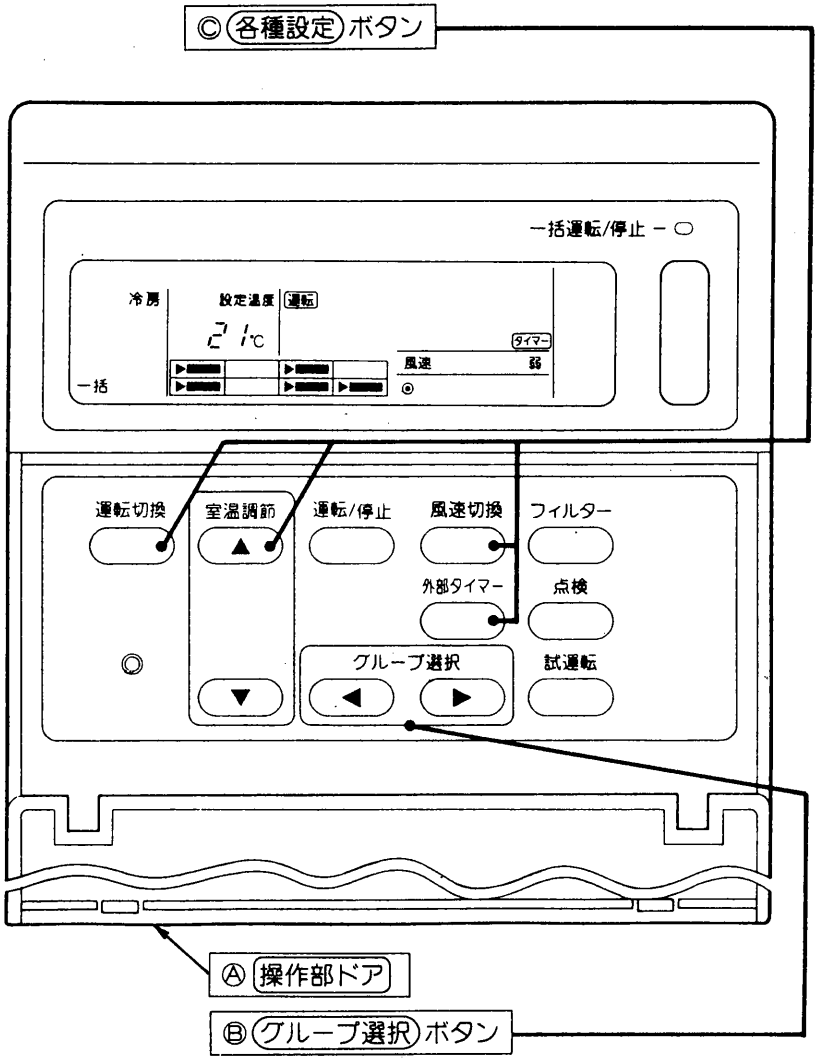
●(◀)ボタンを操作…… 〝▶〟が左方向へ移動
(▶)ボタンを操作…… 〝▶〟が右方向へ移動
液晶表示部も選択されたグループの内容を順次表示します。
（登録されていないグループはスキップします。）

●グループ1からさらに左方向へ、またはグループ8からさらに右方向へ移動させると、一括設定画面になります。



(▶)ボタンの場合を示します。
(◀)ボタンの場合矢印とは逆方向の順に変わります。

※グループNo.が1～8の場合です。グループNo.の割付けの詳細は26ページを参照ください。



3	◎(各種設定)ボタンで操作を行ないます

●運転モード、設定温度、風速切換、外部タイマーの一括設定を行ないます。
（詳細は14ページの、〝3-3 各項目の設定操作〟をご覧ください。）

●設定操作を行ないますと、表示は点滅から点灯に変わります。

●一括設定を行なわない設定項目は点滅のままです。この場合、一括設定されていない項目はグループ別操作設定にて設定された内容が継続されます。

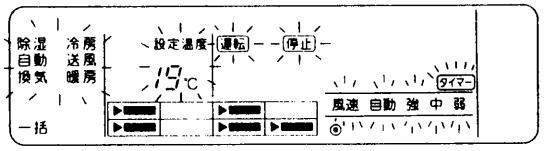
4	Ⓐ(操作部ドア)を閉めます

●一括モニタ画面になります。

表示例　一括設定画面

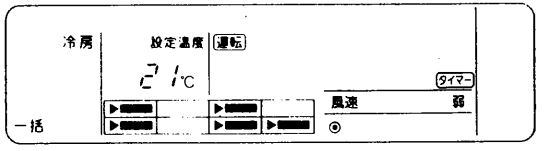
●一括設定画面では、設定できる項目が点滅表示します。
また登録グループすべてに〝▶〟が点灯します。

※(一括運転／停止)ボタンによって一括運転している場合に、操作部ドアを開けますと一括設定画面になります。



◎登録完了画面

操作設定された項目は点灯表示に変わります。



3-2 グループ別操作設定画面の呼び出し

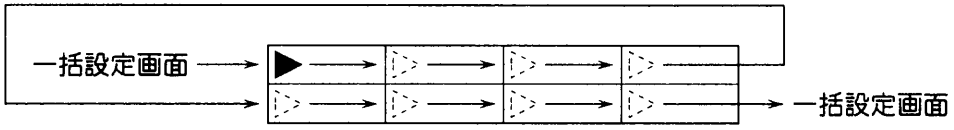
●グループごとに運転モード、設定温度、風速、タイマーを設定する場合はグループ別設定画面を呼び出します。

1	Ⓐ(操作部ドア)を開けます

2	Ⓑ(グループ選択)ボタンでグループ別設定画面を表示します

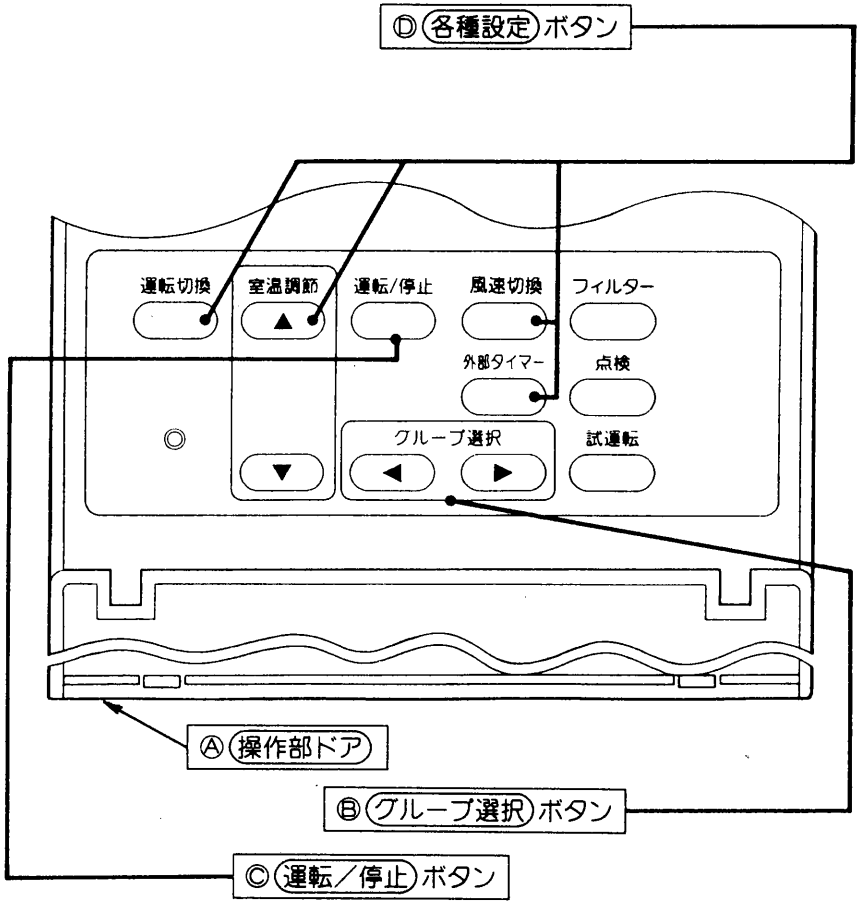
●(◀)ボタンを操作…… "▶" が左方向へ移動
(▶)ボタンを操作…… "▶" が右方向へ移動
液晶表示部も選択されたグループの内容を順次表示します。
(登録されていないグループはスキップします。)

●グループ1からさらに左方向へ、またはグループ8からさらに右方向へ移動させると、一括設定画面になります。



(▶)ボタンの場合を示します。
(◀)ボタンの場合矢印とは逆方向の順に変わります。

※グループNo.が1～8の場合です。グループNo.割り付けの詳細は26ページを参照ください。



3	選択したグループが停止している場合◎(運転／停止)ボタンを押します

●選択したグループを運転状態にしてから各種設定を行ないます。

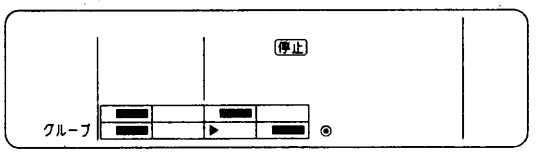
4	Ⓓ(各種設定)ボタンで操作を行ないます

●運転モード、設定温度、風速切換、外部タイマーの設定を行ないます。
（詳細は14ページ、"3-3 各項目の設定操作" をご覧ください。）

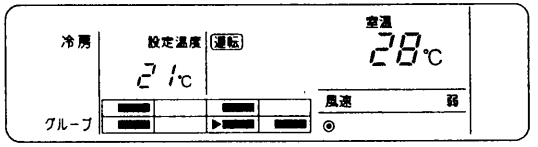
●選択機能のないユニットがグループに登録してある場合。
ボタンで押した内容の表示と "この機能はありません" の表示が点滅し設定できないことを示します。

5	Ⓐ(操作部ドア)を閉めます

●表示は設定したグループの運転状態のまま継続します。



(運転／停止)ボタンを押す



◎運転の状態にします。

3-3 各項目の設定操作

●運転モード、設定温度、風速切換、外部タイマーを設定します。

1	Ⓐ(操作部ドア)を開けます

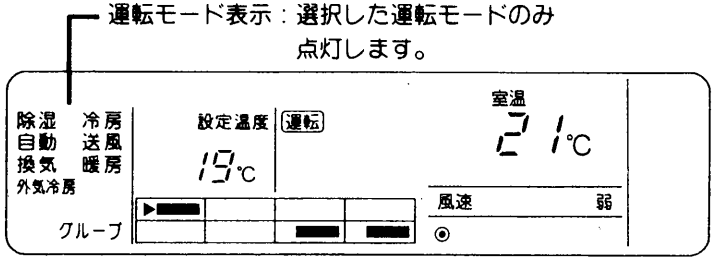
2	Ⓑ(グループ選択)ボタンでグループを選択します

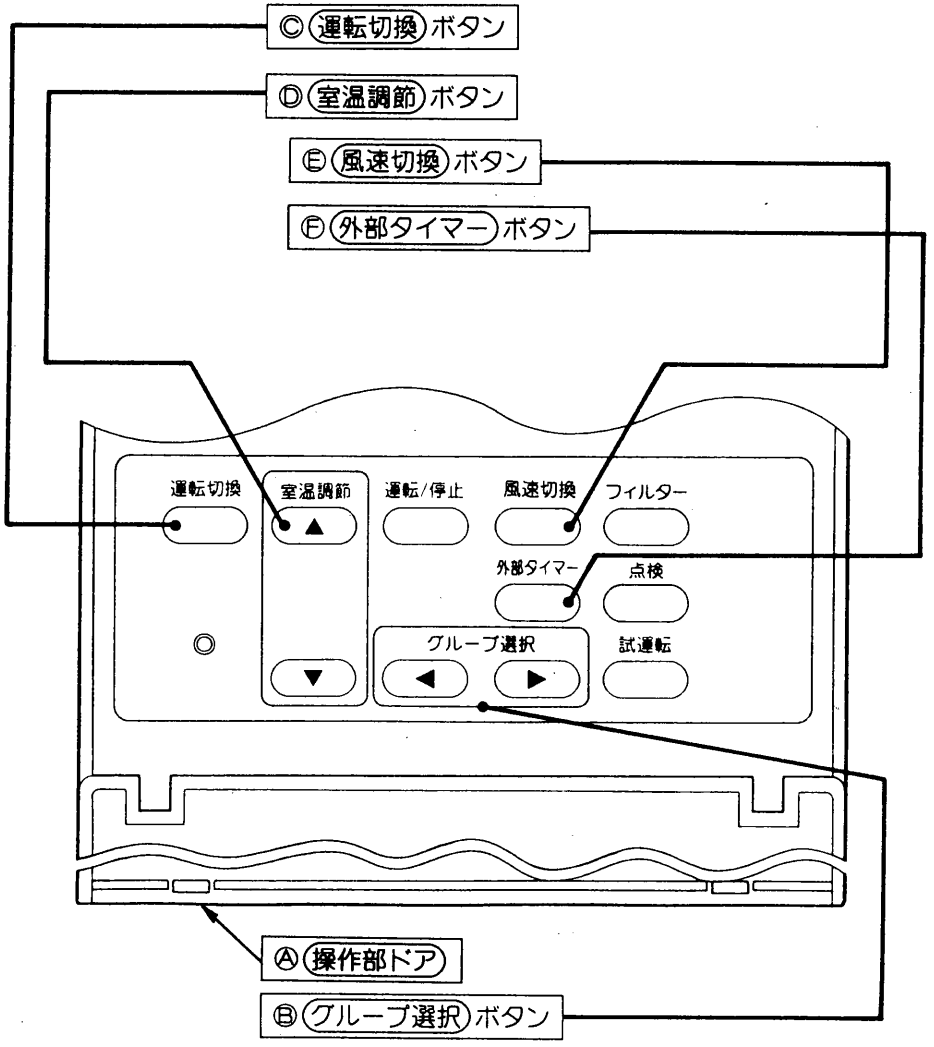
●設定を行ないたいグループの画面、または一括設定画面を表示させます。(10または12ページを参照ください)

3	Ⓒ(運転切換)ボタンで運転モードを選択します

●ボタンを押すごとに
<冷房>→<除湿>→送風→<自動>→<暖房>→<換気>
の順に切換わります。<　>の機能がないユニットがグループに登録してある場合この運転モードは表示されません。

●他の上位システムコントローラの設定で本機の運転切換操作が禁止されている場合、〝－集中管理中－〟が点灯します。このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。

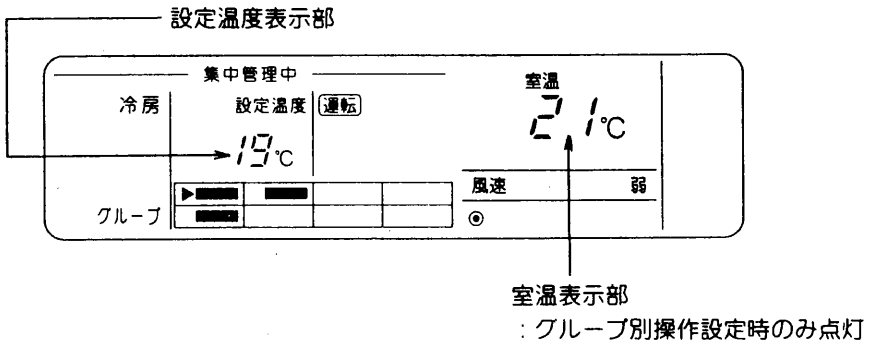




お知らせ　外気冷房のモードはリモコンで選択できません。連動機の存在するシステムで冷房運転中に外気温度が低下し外気導入による冷房が可能な状態になると連動機が自動的に判断して行ないます。

4 Ⓓ(室温調節)ボタンで設定温度を設定します

- (▲)または(▼)ボタンを１回押すごとに設定温度が１℃ずつ変わります。



- 設定温度範囲は次のとおりです。
  冷房／除湿　19℃～30℃
  暖　　房　17℃～28℃
  自　　動　19℃～28℃

- 送風／換気運転では室内温度の設定はできません。

- 他の上位システムコントローラの設定で本機の室温調節操作が禁止されている場合〝－集中管理中－〟が点灯します。
  このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。

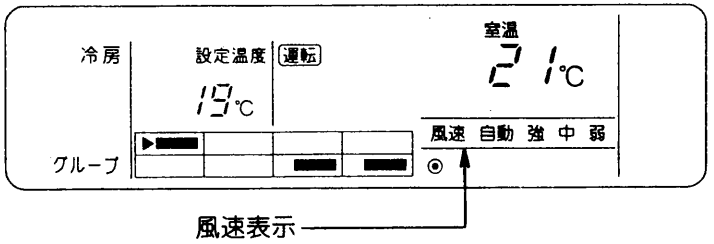
- 一括設定画面での設定温度範囲は運転モードに関係なく17℃～30℃で設定できますが、実際には各グループの運転モードで可能な設定温度の範囲となります。

- 室温表示部には、選択したグループで最小アドレスNo.のファンコイルユニットが設置されている室内温度を表示します。
  この表示はグループ別操作設定時のみ点灯します。

5 Ⓔ(風速切換)ボタンで風速を設定します

- (風速切換)ボタンを押すごとに弱→中→強→自動の順に切換わります。
  （ユニットが運転中の場合のみ可能です）

- 風速が２段のユニットがグループに登録してある場合弱 ⟷ 強の切換えになります。



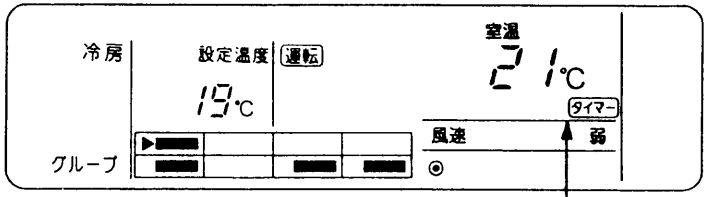
6 ⑥(外部タイマー)ボタンでスケジュールタイマー（別売）の有効／無効を切換えます

●タイマー運転は別売のスケジュールタイマー（PAC-SC31ST）を接続した場合のみ可能です。外部タイマーボタンを押し〝(タイマー)〟を点灯させます。この操作によりスケジュールタイマーによる運転が可能となります。

●ボタンを押すたびに外部タイマー有効／無効に切換わります。

●スケジュールタイマーが接続されていないのに、このボタンを押しますと〝この機能はありません〟と〝(タイマー)〟が点滅し操作できないことをお知らせします。

●他の上位システムコントローラの設定で本機の外部タイマー有効の設定が禁止されている場合〝－集中管理中－〟が点灯します。
このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。



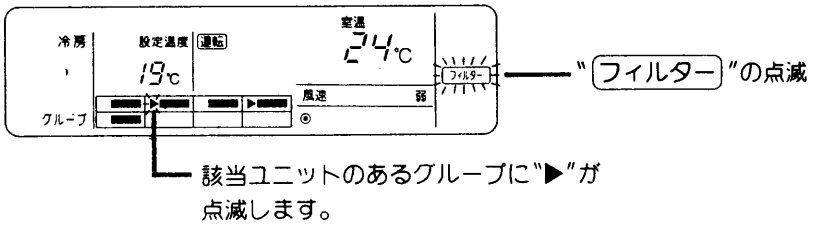
〝(タイマー)〟の表示を点灯させます。

5 フィルタークリーニングサインリセット

●フィルター清掃時期が来ますと〝フィルター〟および該当するユニットが登録されているグループに〝▶〟が点滅します。

●この表示が出ましたら該当するユニットのフィルターを清掃してください。

●清掃後、下記の1．または2．に示す操作を行ない、フィルターをリセット（表示を消す）します。



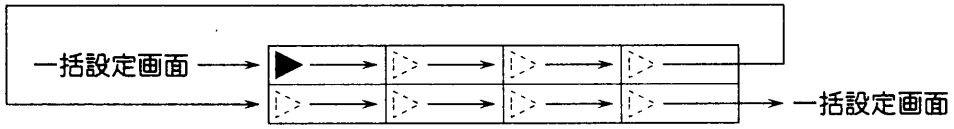
1．グループ別フィルタークリーニングサインリセット

1	Ⓐ操作部ドアを開けます

2	Ⓑグループ選択ボタンでグループを選択します

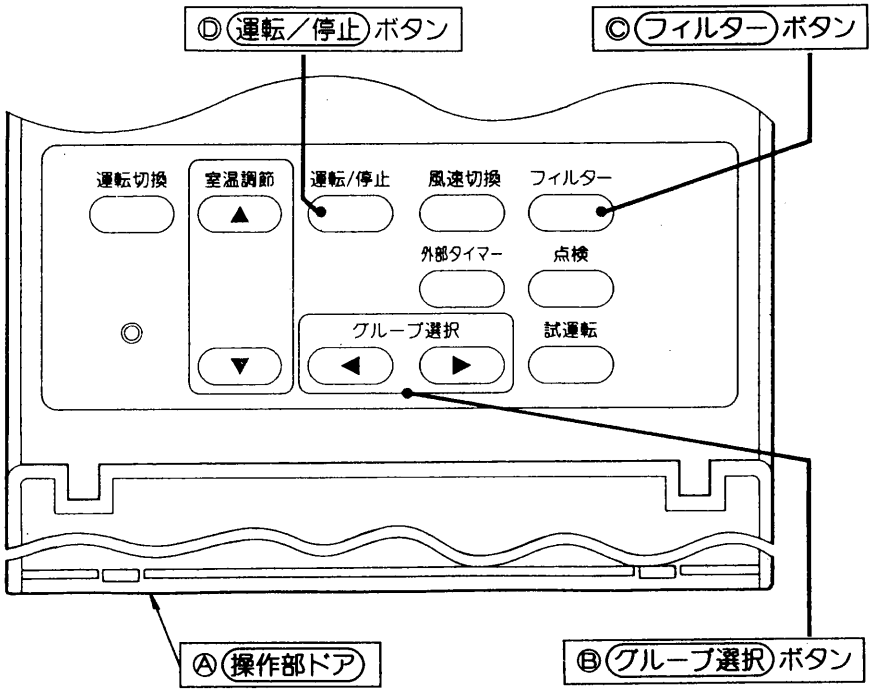
●◀ボタンを操作…… 〝▶〟が左方向へ移動
▶ボタンを操作…… 〝▶〟が右方向へ移動
液晶表示部も選択されたグループの内容を順次表示します。
（登録されていないグループはスキップします。）

●グループ1からさらに左方向へ、またはグループ8からさらに右方向へ移動させると、一括設定画面になります。



◀ボタンの場合を示します。
▶ボタンの場合矢印とは逆方向の順に変わります。

※グループNo.が1～8の場合です。グループNo.割り付けの詳細は26ページを参照ください。



3	選択したグループが停止している場合Ⓑ(運転／停止)ボタンを押します

●選択したグループを運転状態にしてからリセット操作を行ないます。

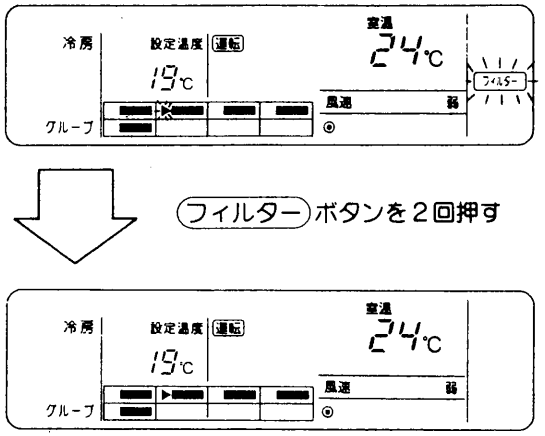
4	Ⓒ(フィルター)ボタンを２回押してフィルターサインを消します

●フィルターボタンを２回続けて押しますと“(フィルター)”が消灯します。同時に〝▶〟が点滅から点灯に変わります。

●他の上位システムコントローラの設定で本機のリセット操作が禁止されている場合、〝－集中管理中－〟が点灯します。このときに操作しますと〝－集中管理中－〟が点滅し操作できないことをお知らせします。

5	Ⓐ(操作部ドア)を閉めます

●選択されているグループの運転状態を表示します。



2．一括フィルタークリーニングリセット

1 Ⓐ(操作部ドア)を開けます

2 Ⓑ(グループ選択)ボタンで一括設定画面を表示します

- ◀ ボタンを操作…… "▶" が左方向へ移動
  ▶ ボタンを操作…… "▶" が右方向へ移動

グループ別フィルターサインリセットの時と同様に操作し一括設定画面を呼び出します。

3 Ⓓ(運転／停止)ボタンで運転状態にします

- 運転状態にしてからリセット操作を行ないます。

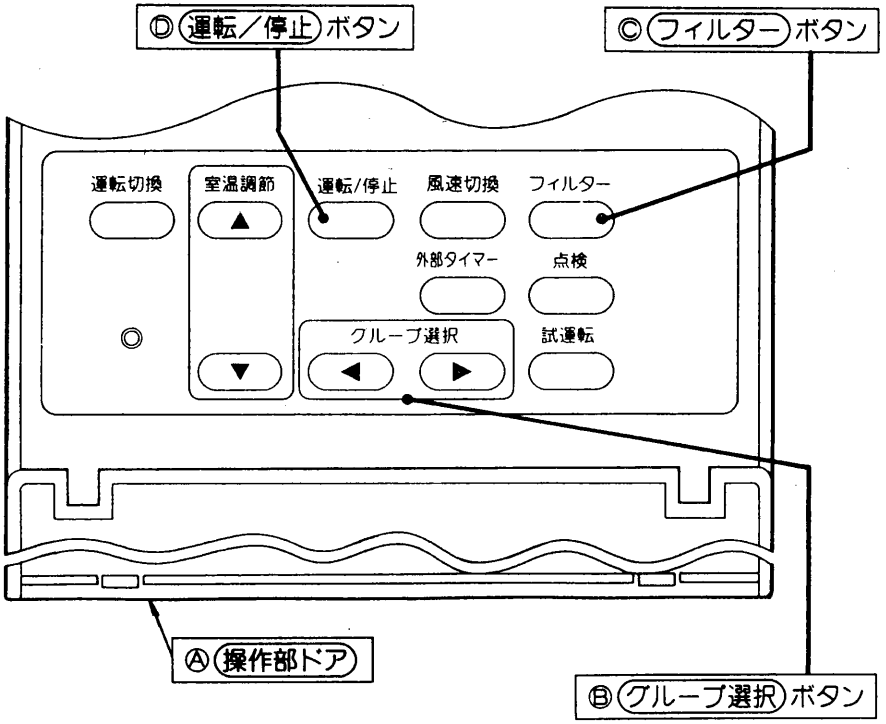
4 Ⓒ(フィルター)ボタンを２回押してフィルターサインを消します

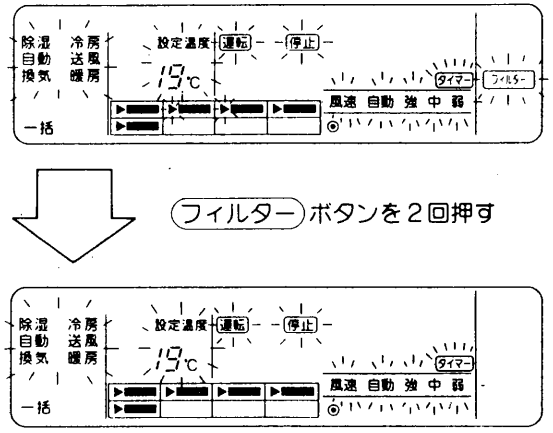
- フィルターボタンを２回続けて押しますと "(フィルター)" が消灯します。同時に "▶" が点滅から点灯に変わります。

- 他の上位システムコントローラの設定で本機のリセット操作が禁止されている場合、"－集中管理中－" が点灯します。このときに操作しますと "－集中管理中－" が点滅し操作できないことをお知らせします。

5 Ⓐ(操作部ドア)を閉めます

- 一括モニタ画面になります。

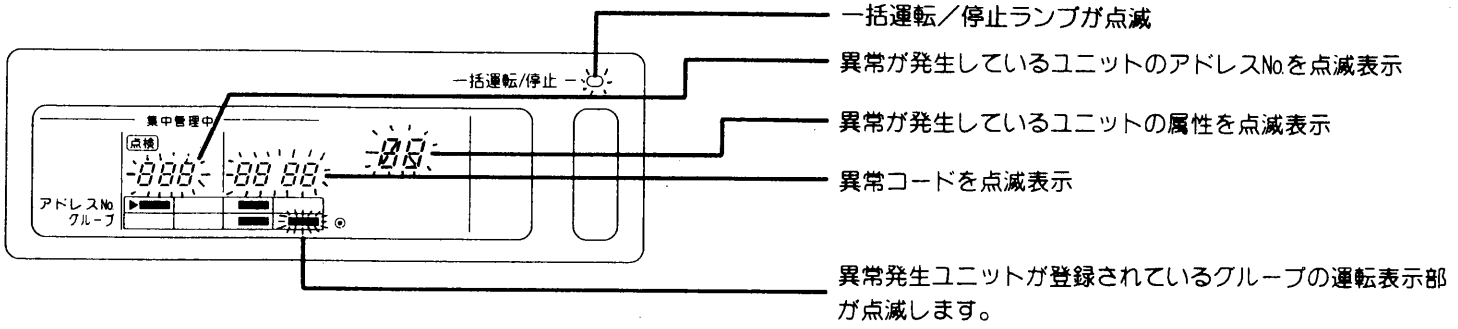




6 異常が発生した場合

1．異常が発生した場合、下記のように表示します。

●この場合異常が発生しているユニットアドレス、異常コードを確認したうえで、お買い上げいただいた販売店またはサービスセンターへご連絡ください。



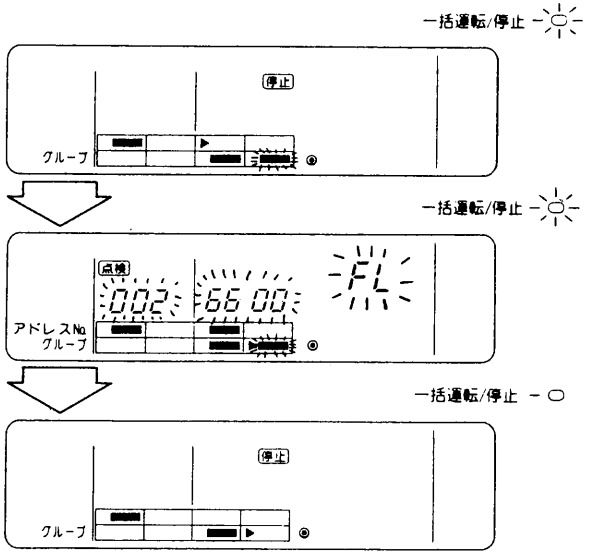
2．異常表示の解除

●下記(1)または(2)の操作を行なうことにより異常の表示は解除されます。

(1) 一括して異常表示を解除する。

(一括運転／停止)ボタンを押します

●この場合全グループが停止します。



(2) グループ別に異常表示を解除する。

1	Ⓐ(操作部ドア)を開けます

●一番最後に操作されたグループの設定内容を表示します。
（異常を示す表示は継続して点滅します）

2	Ⓑ(グループ選択)ボタンで異常発生グループを呼び出します
3	Ⓓ(運転／停止)ボタンで異常を解除します

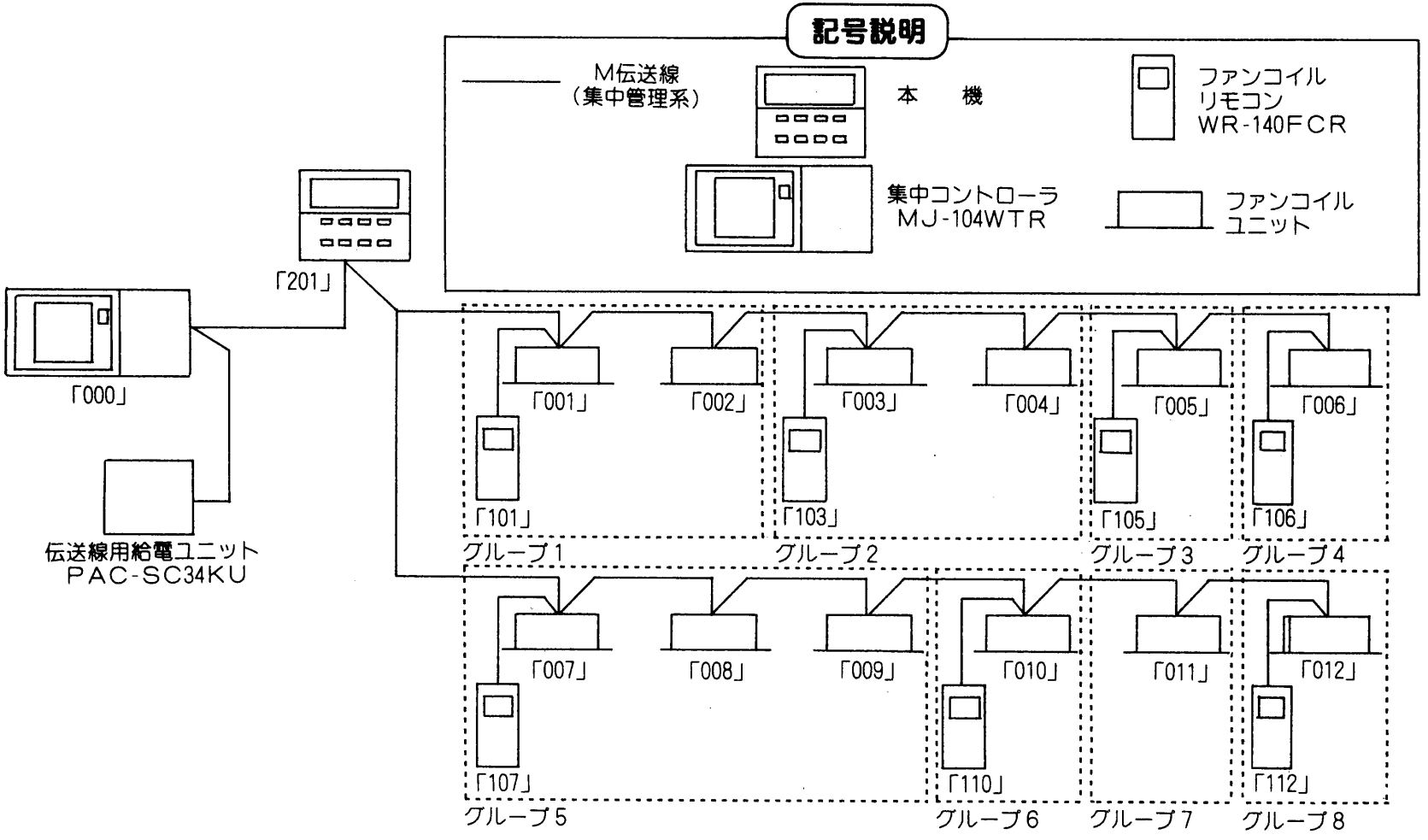
●異常は解除され、グループは停止します。この場合呼び出された異常発生グループのみが停止します。

7 システムの初期設定

1．システム制約

(1) システム例

本機はシステム中
次のように組み込まれます。



(2) 制約事項

- 登録台数

  ファンコイルユニット……最大16台
  連動機１（ファンコイルユニットとダクトで接続された連動機）……最大８台
  連動機２（連動機１とダクトで接続された連動機）……最大８台

- １つのグループに登録できる台数

  ファンコイルユニット……最大16台
  連動機１……最大１台
  連動機２……最大１台（１台の連動機１に対し最大１台）

- すでにグループに登録されたファンコイルユニットは別のグループに登録はできません。

- 連動機は複数のグループに登録できます。

- 別々のＶＡＶユニットにダクト接続されたファンコイルユニットは同じグループに登録しないでください。

- ファンコイルリモコン、上位システムコントローラ（集中コントローラ等）と併用できます。但しファンコイルグループリモコンどうしを上位、下位に設定して管理はできません。

- ファンコイルグループリモコンは１系統に複数接続できます。

- 本機が他の上位システムコントローラに管理されるシステムの場合本機で初期設定は行なえません。上位システムコントローラで初期設定を行なってください。

- 本機から連動機だけの運転はできません。

- 本機が単独で集中管理系のM伝送線に接続される場合、伝送線用給電ユニット（ＰＡＣ-ＳＣ33ＫＵ/34ＫＵ）が必要です。

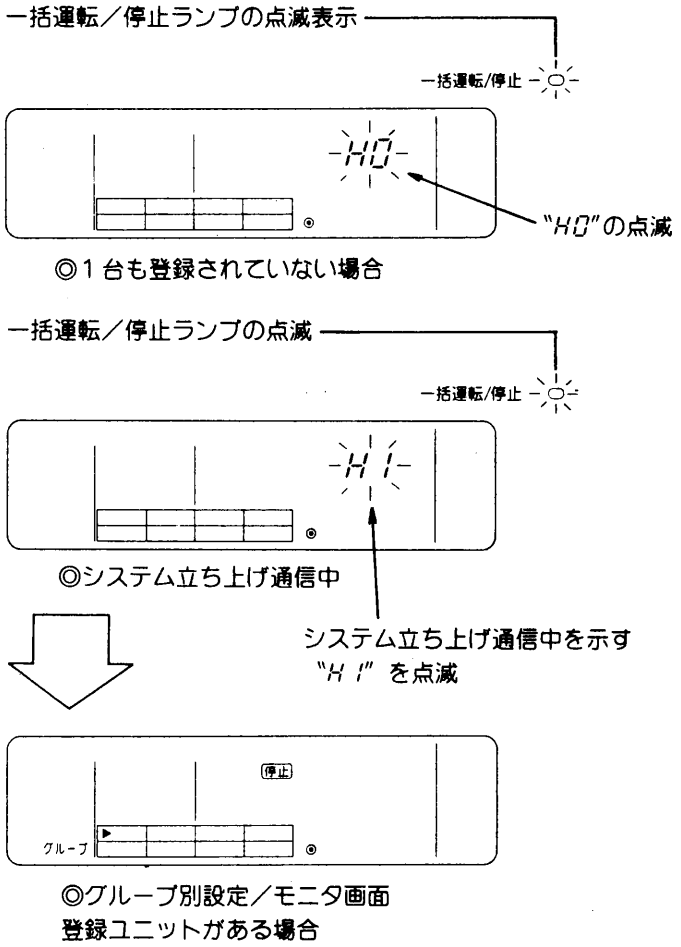
2．給電の開始

リモコンに給電が開始されますと次のような表示がでます。
(1)、(2)いずかの状態から初期設定モード画面を呼び出します。

(1) ユニットが１台も登録されていない場合。

(2) すでにユニットが登録してある場合。

●システム立ち上げ通信を行ないます。完了しますと、グループ設定／モニタ画面となります。



3．初期設定操作

●本機が下位に設定され、他の上位システムコントローラに管理されるシステムの場合、本機で初期設定は行なえません。上位システムコントローラにて初期設定を行なってください。

●本機が上位コントローラの場合、本機のみで初期設定操作を行なってください。初期設定操作には次の内容があります。

3-1 初期設定モード画面の呼び出し…（P24）3-3～3-5の操作を行なうために初期設定モード画面を呼び出します。
3-2 初期設定モード画面の終了……（P25）3-3～3-5の操作を行なった後、初期設定モード画面を終了します。
3-3 グループ設定……（P26）本機で管理する１～８のグループそれぞれにファンコイルユニットを登録します。
3-4 連動設定……（P32）各グループに登録されたファンコイルユニットと、他の連動機器（ロスナイ等）が連動運転するよう登録します。
3-5 一括抹消……（P45）本機に設定されているグループ設定、連動設定の内容をすべて抹消します。

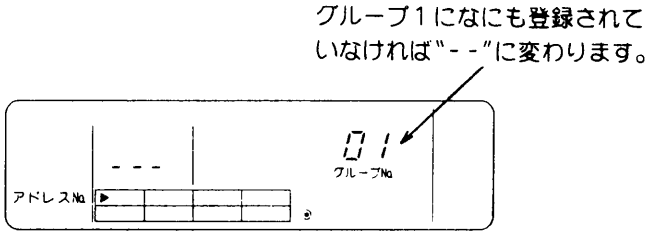
3-1 初期設定モード画面の呼び出し

フィルター と 外部タイマー ボタンを同時に２秒以上押します

●(1)または(2)の初期の設定モード画面になります。この状態から、グループ設定、連動設定、一括抹消の各操作設定を行ないます。

(1) グループ１に登録ユニットがない場合

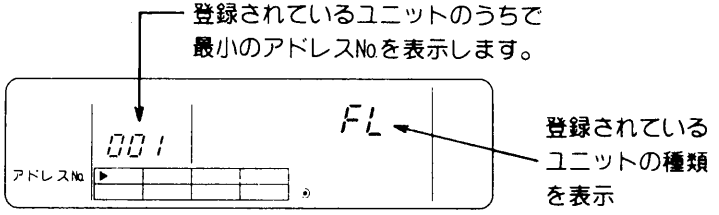
●グループ１に登録ユニットがない場合、右記画面を表示した後、"01" は "--" に変わります。



◎初期設定モード画面

(2) グループ１に登録ユニットがある場合

●グループ１に登録ユニットがある場合(1)の画面を表示した後、右記画面に変わります。登録されているユニットのうちで最小のアドレスNo.と種類を表示します。



◎初期設定モード画面

お知らせ 登録されているユニットが１台でも次のようになっている場合、初期設定モード画面の呼び出しはできません。下記の必要な操作を行なってから初期設定モード画面の呼び出しを行なってください。

運転中……ユニットを停止させます。

外部タイマーが設定されている……外部タイマーの設定を無効とします。"タイマー"を消灯させます。(16ページ参照)

異常表示……異常表示を解除します。(20ページ参照)

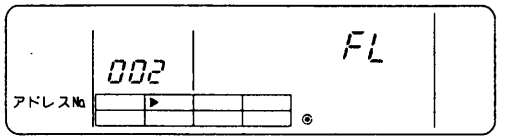
3-2 初期設定モード画面の終了

● "3-3 グループ設定"、"3-4 連動設定"、"3-5 一括抹消" 等の各設定が終了しましたら初期設定モード画面を終了します。

(フィルター)と(外部タイマー)ボタンを同時に2秒以上押します

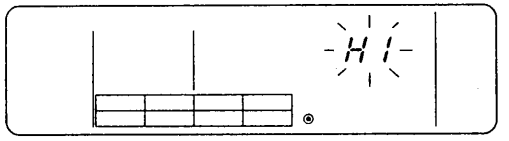
● この操作によりグループ設定情報を記憶し、システム立ち上げ通信を行ないます。終了しますとグループ別設定／モニタ画面となり、日常の操作ができるようになります。システム立ち上げ通信中は "H i" が点滅します。

お 願 い "H i" の表示が点滅しているときに電源を切らないでください。設定した情報が消えてしまいます。

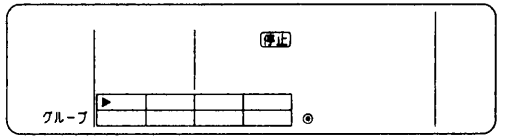


◎登録終了画面

(フィルター)と(外部タイマー)ボタンを押す



しばらくしますとグループ1を選択した状態になります。



◎グループ別設定／モニタ画面

3-3 グループ設定

- 本機で管理する１～８のグループそれぞれにユニットを登録します。
- 以下の手順で操作の内容を説明します。

①グループを選択　ユニットを登録するグループを選択します。

↓

②ユニットを選択　登録するユニットを選択します。

↓

③ユニットをグループに登録

④登録ユニットの検索

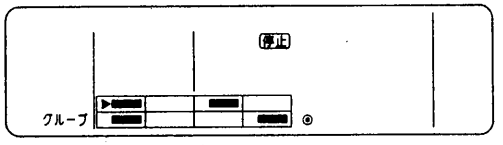
⑤グループからユニットを削除

グループNo.の割付けについて

- 本説明は管理するグループNo.がグループ１からグループ８までの場合です。本機のアドレスNo.によってグループNo.の割付けが決まります。
- 本機アドレス設定範囲：２０１～２０５
  管理するグループNo.　：本機設定アドレス－２００から、
  本機設定アドレス－２００＋７まで

（例１）本機のアドレスを２０１に設定した場合（右記）
管理するグループNo.：グループ１～グループ８

（例２）本機のアドレスを２０２に設定した場合
管理するグループNo.：グループ２～グループ９



グループ表示部：グループNo.の割り付け

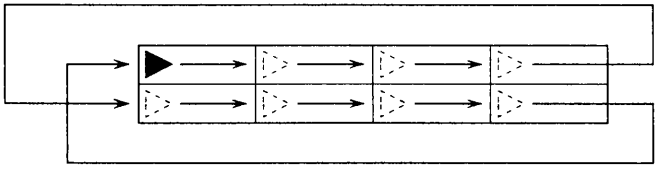
1	2	3	4
5	6	7	8

〈本機のアドレスが２０１の場合〉

① グループを選択

(グループ選択)ボタンでユニットを登録したいグループを選択します

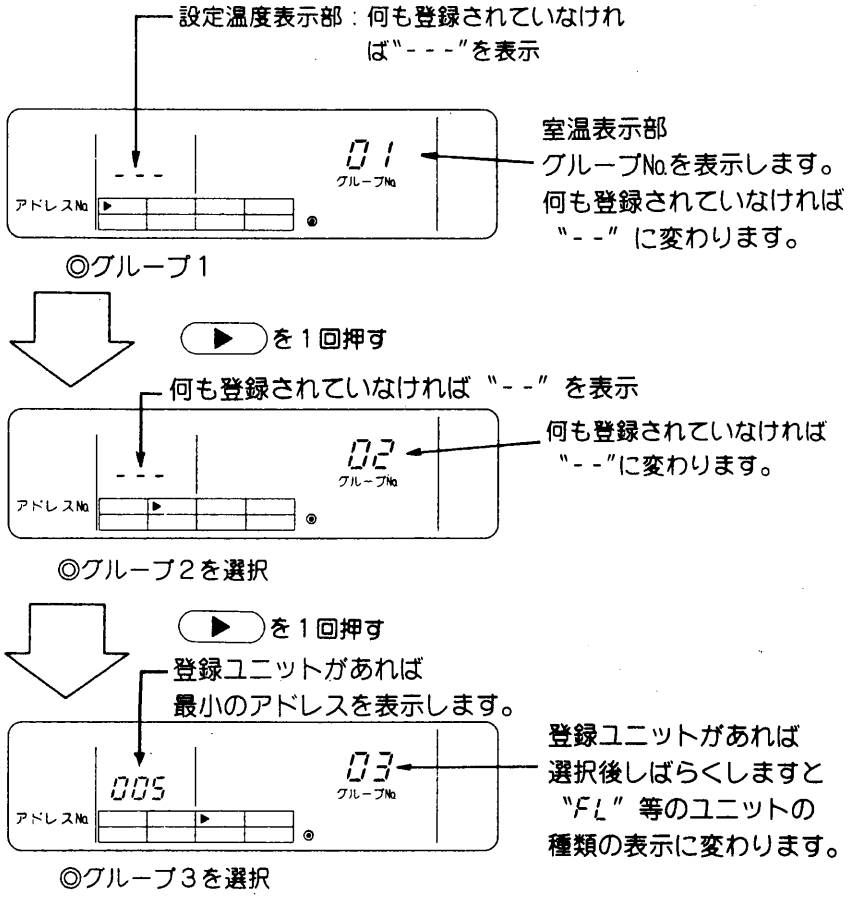
- (◀)ボタンを操作…… "▶" が左方向へ移動
  (▶)ボタンを操作…… "▶" が右方向へ移動
  下記は(▶)ボタンの場合を示します。
  (◀)ボタンの場合矢印とは逆方向の順に変わります。



- 室温表示部にはグループ番号を表示します。

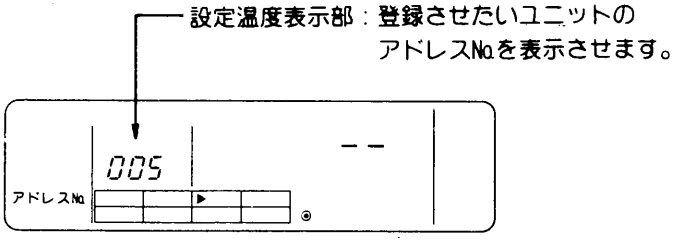
- 選択したグループに登録ユニットがない場合、しばらくしますとグループ番号の表示（"01" など）が "--" に変わります。

- 選択したグループに登録ユニットがある場合、グループのうちで最小のアドレスNo.を表示します。また、しばらくしますとグループ番号の表示がアドレスNo.のユニットの種類の表示（"FL" など）に変わります。右記表示例ではグループ３にすでにアドレスNo.００５のユニットが登録済みであることを示します。



② ユニットを選択

(室温調節)ボタンでグループに登録するユニットを選択します



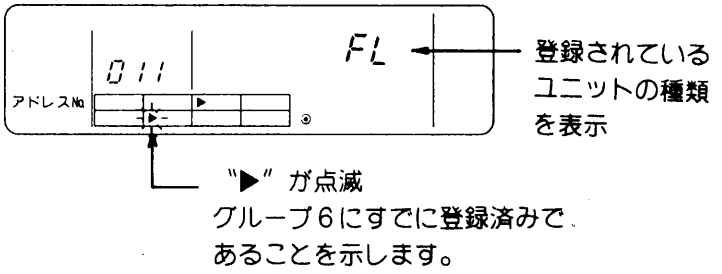
●室温調節(▲)ボタンを１回押すごとに設定温度表示部のアドレスNoが下記の順に変わります。
ボタンを押し続けますと表示は早送りします。

"001"→"002"→"003"→ ····· →"200"

●(▼)ボタンは上記とは逆の順に変わります。

◎アドレスNo設定範囲
ファンコイルユニット……００１～０５０
ファンコイルリモコン……１０１～２００

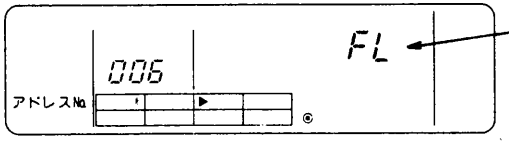
●選択したユニットがすでに別のグループに登録されている場合、登録はできません。右記表示例の場合グループ３でユニット０１１を選択した場合を示します。



③ ユニットをグループに登録

試運転ボタンで登録します

● 正常に登録されますと "FL" などユニットの種類が点灯します。



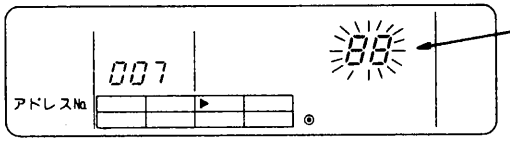
正常に登録されますとユニットの種類が点灯します。

◎登録完了画面
グループ3にアドレスNo.006のユニットを登録

異常終了の場合

● 指定したユニットが存在しない場合、または伝送上異常がありますと登録エラーを示す "88" が点滅します。

● この場合ユニットの存在を確認、または伝送線の接続などの確認を行ない ②ユニットの選択 の操作からやり直してください。



エラー表示

◎異常終了の場合

つづけて別のユニットを登録する場合

● 登録完了画面にて室温調節 ▲ ▼ ボタンを押しますと次のアドレスNo.が表示されますので、右記の順に操作を行ない登録します。

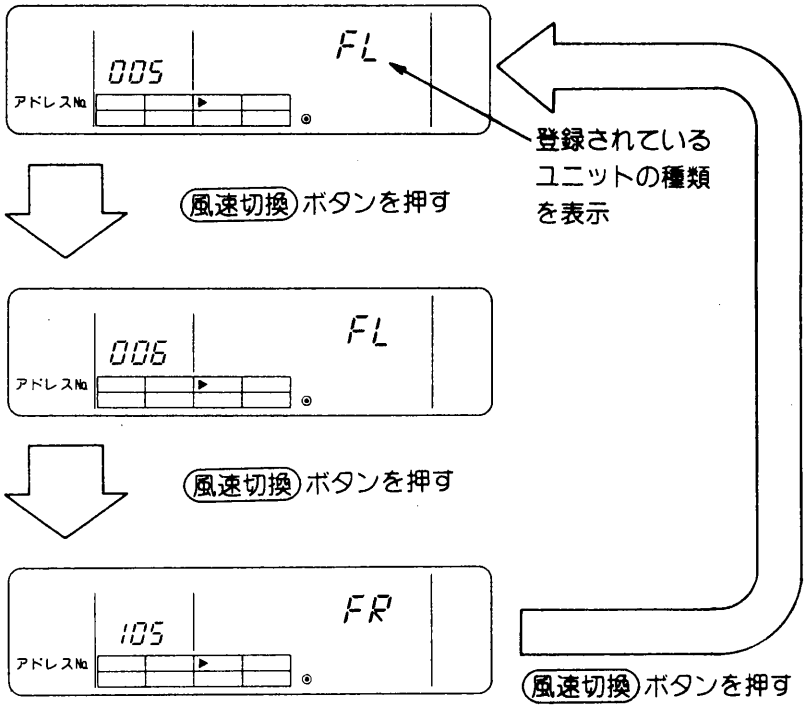
②ユニットを選択
↓
③ユニットをグループに登録

④ 登録ユニットの検索

グループに登録してあるすべてのユニットのアドレスNo.を確認できます。

1	①グループを選択 を行ない検索したいグループを呼び出します
2	風速切換 ボタンでグループに登録されているユニットを検索します

- 風速切換 ボタンを押すたびにグループに登録されているユニットのアドレスNo.を小さい順に表示します。



⑤ グループからユニットを削除

1	削除したいユニットのアドレスを呼び出します

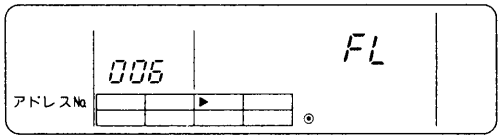
●Ⓐ～©いずれかの操作を行ない削除したいユニットのアドレスNo.を表示させます。

Ⓐ ①グループを選択 と ②ユニットを選択

Ⓑ ④登録ユニットの検索 が終了した画面

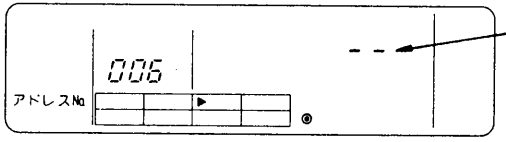
© ③ユニットをグループに登録 が終了した画面

●右記表示例の場合グループ3に登録してあるアドレスNo.006のユニットを削除させます。



◎表示例

2	運転／停止 ボタンを2回押してユニットを削除します



完了しますとユニットの種類が消灯し“- -”に変わります。

◎抹消完了画面

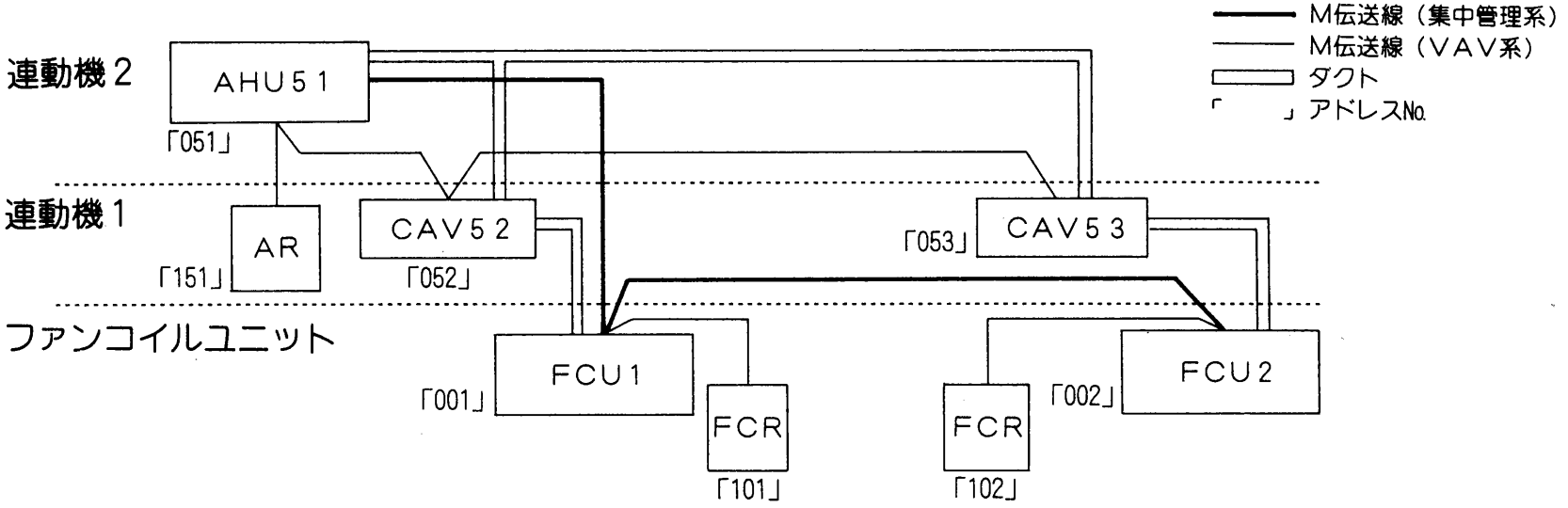
3-4 連動設定

- グループ設定で登録したファンコイルユニットと連動運転する機器を連動設定します。
- 本機での連動設定における、連動機には次の２種類があります。各々連動設定する画面が異なります。

  連動機１：ファンコイルユニットのグループから連動運転させる連動機です。連動設定は連動設定画面１で行ないます。連動機１として連動設定できる対象機器は、ロスナイユニット、フィルターユニット、エアハンドリングユニット、ＣＡＶユニットです。

  連動機２：連動機１からさらに連動運転させる場合の連動機です。連動設定は連動設定画面２で行ないます。連動機２として連動設定できる対象機器は、ロスナイユニット、フィルターユニット、エアハンドリングユニットです。
- 連動機操作専用のリモコンも設置する場合、それらのユニットとリモコンの連動設定を連動設定画面２で行なってください。
  （連動機１→連動機１用のリモコン、または連動機２→連動機２用のリモコン）
- 連動機の設定は、グループ設定→連動機１→連動機２の順で行なってください。（ファインコイルユニットが１台も登録されていない場合は連動機１の連動設定はできません。同様に連動機１が１台も登録されていない場合は連動機２の連動設定はできません。）

連動設定は下記のように吹き出し口に近いユニットより順に区分けし、下位のユニットと上位のユニットの順に連動設定を行なってください。
（下位からファンコイル→連動機１→連動機２の順）

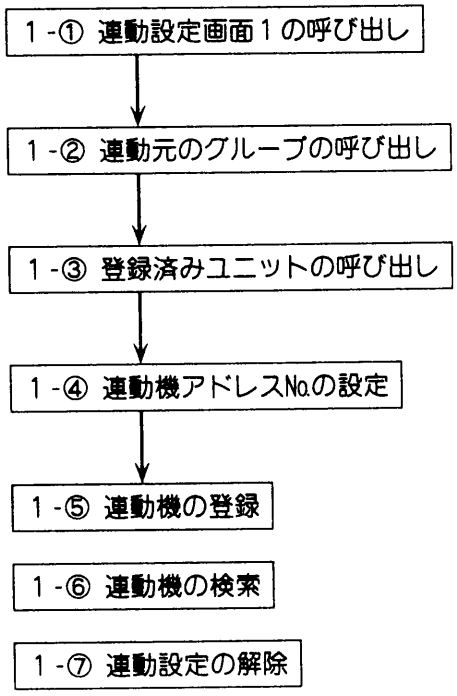


上記のようなシステムの場合、下記で示す関係の連動設定が必要になります。

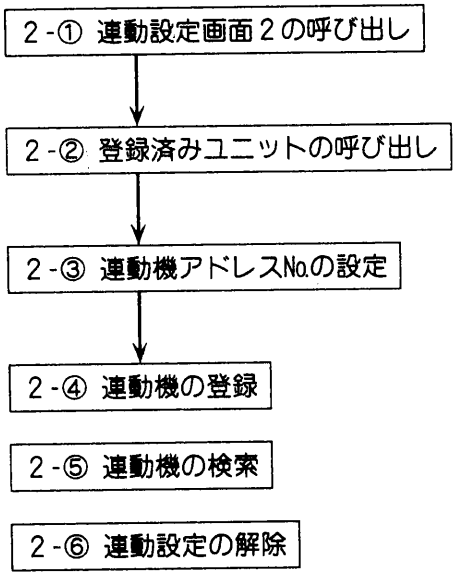
ファンコイルユニット→連動機１の設定	連動機１→連動機２の設定
●ＦＣＵ１→ＣＡＶ５２	●ＣＡＶ５２→ＡＨＵ５１
●ＦＣＵ２→ＣＡＶ５３	●ＣＡＶ５３→ＡＨＵ５１

●以下の手順で操作内容を説明します。

3-4-1 連動設定画面1での連動設定



3-4-2 連動設定画面2での連動設定



●グループNo.が1～8の場合で説明します。グループNo.割り付けの詳細は26ページを参照してください。
●連動機台数などシステム制約については21ページを参照してください。

3-4-1 連動設定画面１での連動設定

1-① 連動設定画面１の呼び出し

1	初期設定モード画面を呼び出します

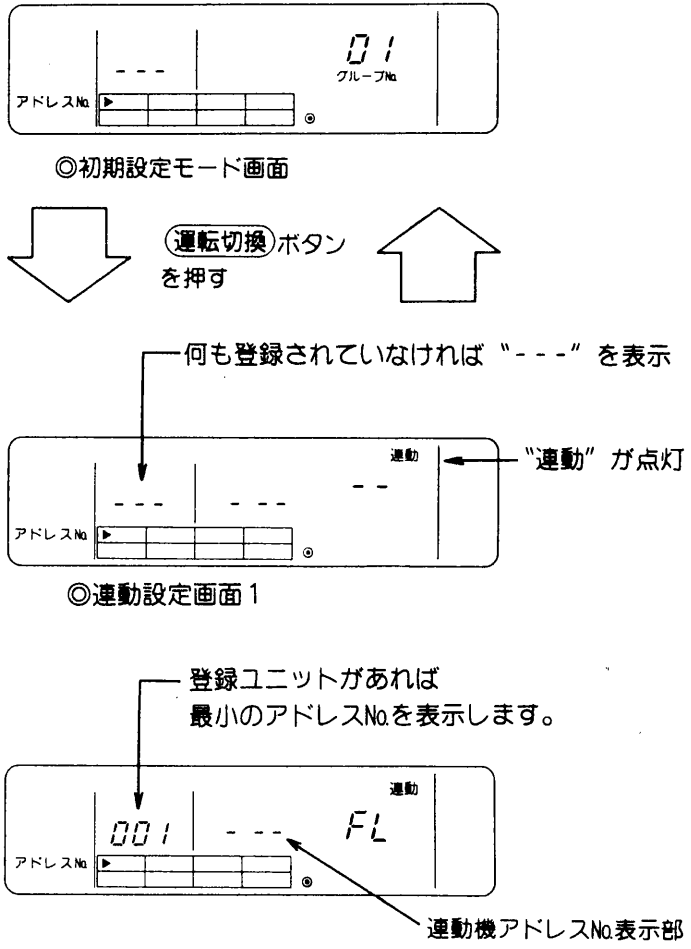
●24ページの初期設定モード画面の呼び出しを参照して初期設定モード画面にしてください。

2	(運転切換)ボタンで連動設定画面１を呼び出します

● (運転切換)ボタンを１回押すごとに初期設定モード画面と連動設定画面１が切換わります。連動設定画面１では〝連動〟が点灯します。

● 〝▶〟が示すグループに登録ユニットがない場合、しばらくしますとグループ番号の表示（〝01〟など）が〝---〟に変わります。

● 〝▶〟が示すグループに登録ユニットがある場合、グループのうちで最小のアドレスNo.を表示します。また、しばらくしますとグループ番号の表示がアドレスNo.のユニットの種類の表示（〝FL〟）に変わります。



1-② 連動元のグループの呼び出し

グループ選択ボタンでグループを呼び出します

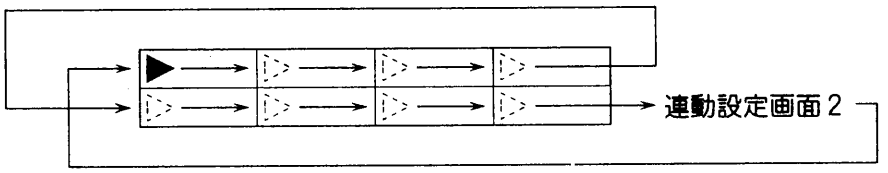
- ◀ ボタンを操作…… "▶" が左方向へ移動
  ▶ ボタンを操作…… "▶" が右方向へ移動
  右記は ▶ ボタンの場合を示します。
  ◀ ボタンの場合、矢印とは逆方向の順に変わります。

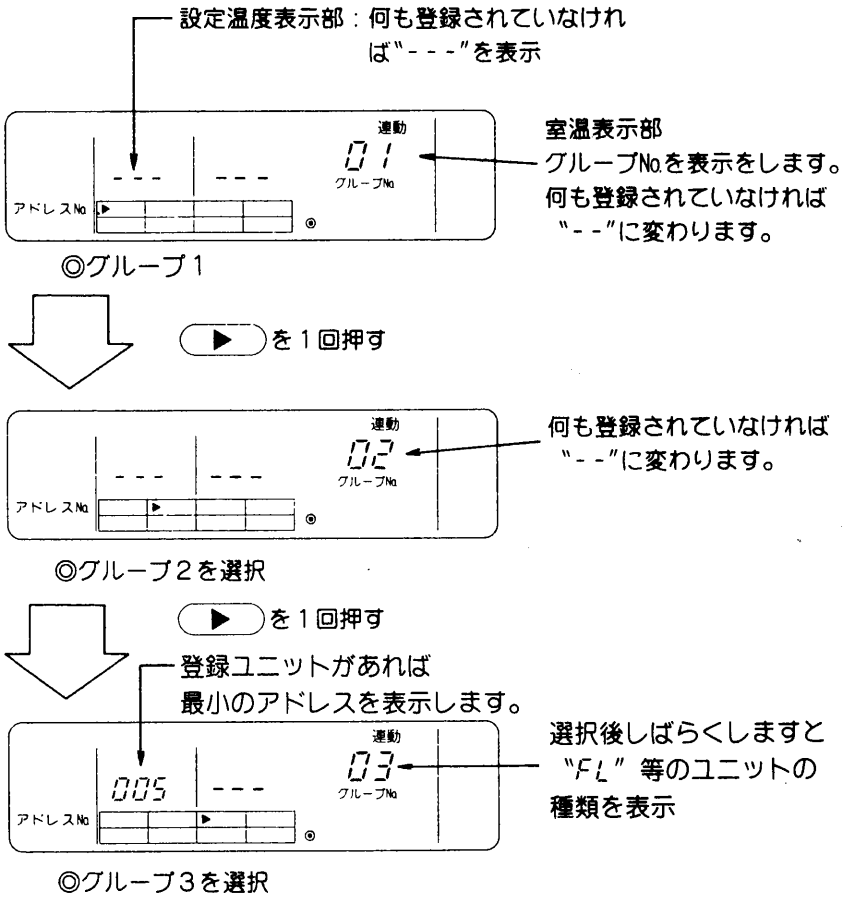
- 室温表示部にはグループ番号を表示します。

- グループ1からさらに左方向へ、またはグループ8からさらに右方向へ移動させた場合は、連動設定画面2（40ページ参照）になり、"▶" が消灯します。

- 選択したグループに登録ユニットがない場合、しばらくしますとグループ番号の表示（"01" など）が "--" に変わります。
  この場合このグループからの連動設定はできません。初期設定モード画面に戻り、グループ設定を行なってから連動設定を行なうようにしてください。

- 選択したグループに登録ユニットがある場合、グループのうちで最小のアドレスNo.を表示します。また、しばらくしますとグループ番号の表示がアドレスNo.のユニットの種類の表示（"FL" など）に変わります。





1-③ 登録済みユニットの呼び出し

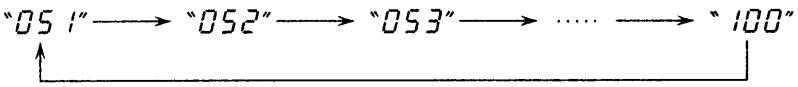
(風速切換)ボタンで登録されているファンコイルユニットを検索します

- (風速切換)ボタンを押すごとに〝▶〟の示すグループのなかで登録済みのファンコイルユニットのアドレスNo.を番号順に表示します。

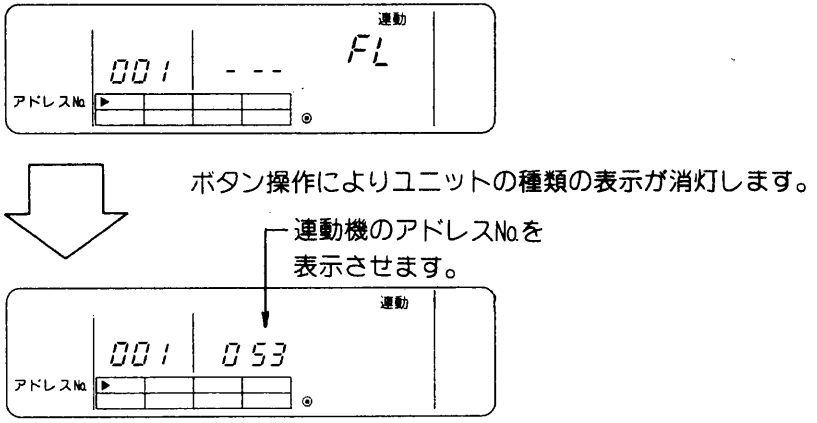
1-④ 連動機アドレスNo.の設定

(室温調節)ボタンで連動機のアドレスNo.を表示させます

- 室温調節(▲)ボタンを押すごとに時刻表示部のアドレスNo.が右記の順に変わります。ボタンを押しつづけますと表示は早送りします。(連動機のアドレスNo.は51～です)



- (▼)は上記とは逆の順に変わります。
- ボタン操作によりユニットの種類の表示〝FL〟は消灯します。
- 連動機1として連動設定できる対象機器は、ロスナイユニット、フィルターユニット、エアハンドリングユニット、CAVユニットです。(32ページ参照)



※表示させた連動機がすでに他のグループとも連動設定されているかを調べるには 1-⑥ 連動機の検索 を行なってください。

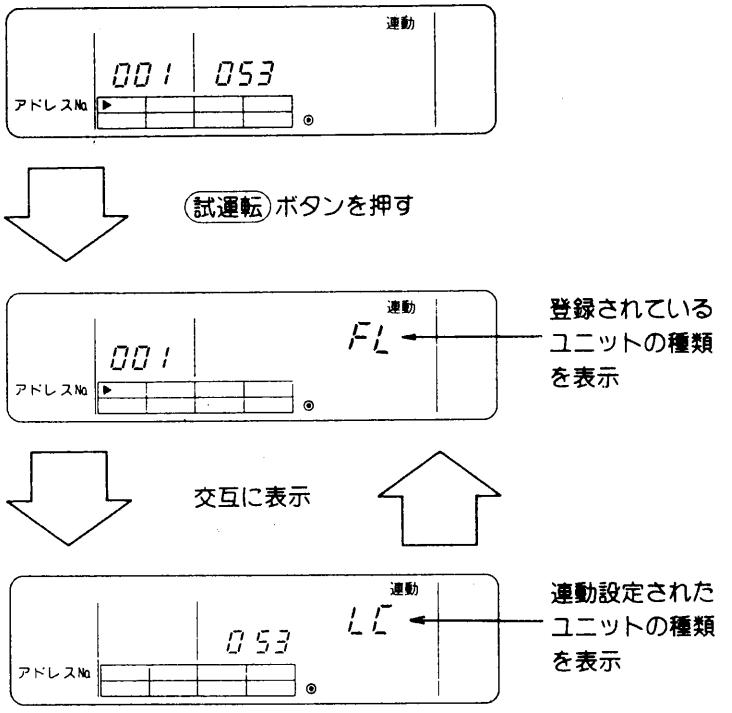
1-⑤ 連動機の登録

1	登録済みユニットと連動機のアドレスNo.を表示させます

1-② 連動元のグループの呼び出し、
1-③ 登録済みユニットの呼び出し、1-④ 連動機アドレスNo.の設定
を行なって登録済みユニットと連動機のアドレスNo.を表示させます。

2	(試運転)ボタンで登録します

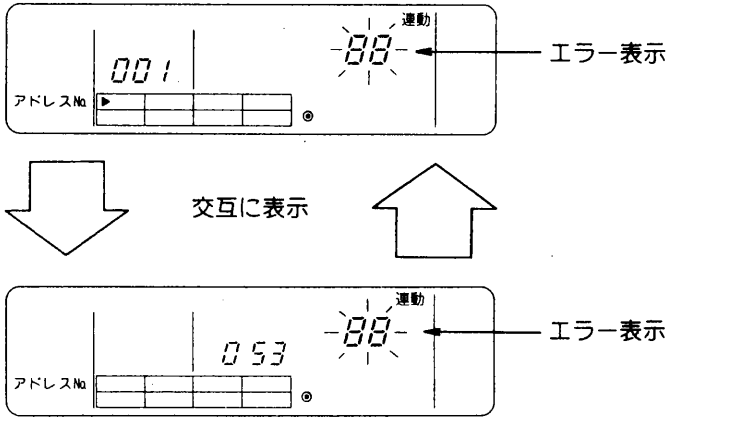
- 正常に登録されますと表示は右記の登録完了画面のようになります。
（アドレスNo.００１のファンコイルユニットにアドレスNo.０５３の連動機（ロスナイ）を連動設定したことを示します）



◎登録完了画面

異常終了の場合

- 指定したユニットが存在しない場合、または伝送上異常がありますと、登録エラーを示す"88"が点滅します。
- この場合ユニットの存在を確認、または伝送線の接続などの確認を行なった後、もう一度登録作業を行なってください。



◎異常終了の場合

続けて次の連動設定を行ないたい場合

●次の連動設定を行ないたい場合、前ページの登録完了画面から右記の操作を再び順に行ないます。

1 -② 連動元のグループの呼び出し
↓
1 -③ 登録済みユニットの呼び出し
↓
1 -④ 連動機アドレスNo.の設定
↓
1 -⑤ 連動機の登録

1 -⑥ 連動機の検索

●ファンコイルユニットと連動設定されているユニットのアドレスNo.を確認できます。

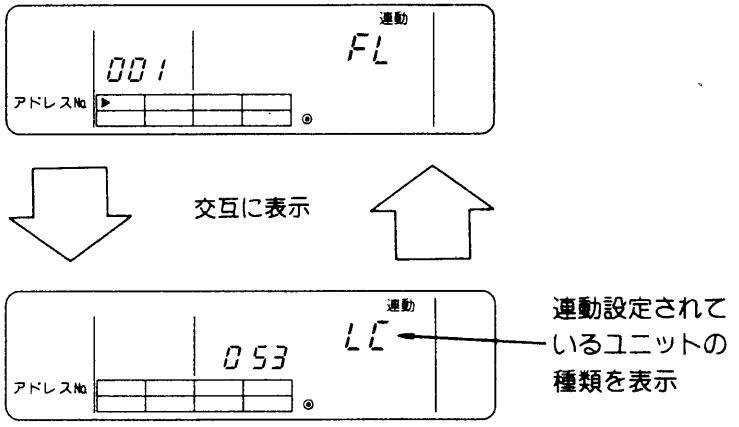
1	検索したいファンコイルユニットのアドレスNo.を表示させます

● 1 -① 連動設定画面１の呼び出し 、1 -② 連動元のグループの呼び出し 、1 -③ 登録済みユニットの呼び出し を順に行ない検索したいファンコイルユニットのアドレスNo.を表示させます。

2	(点検)ボタンで検索します

● (点検)ボタンを押しますと表示されているファンコイルユニットのアドレスNo.と、連動設定されているユニットのアドレスNo.を交互に表示します。

●別のグループと連動設定されているユニットの検索を行なうには 1 -② 連動元のグループの呼び出し へ戻り、別のグループの呼び出しから行なってください。



1-⑦ 連動設定の解除

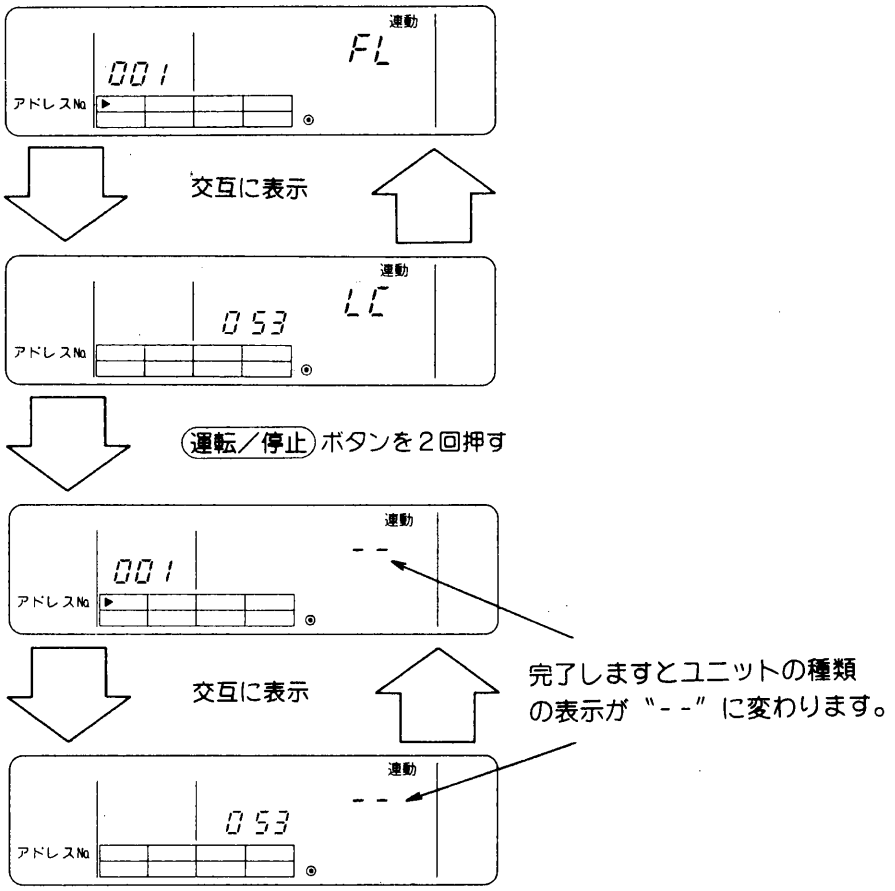
●ファンコイルユニットと連動機の連動設定を解除します。

1	連動設定されている機器を表示させます

● 1-⑥ 連動機の検索 または 1-⑤ 連動機の登録 が完了した画面にして、連動設定を解除させたいユニットのアドレスNo.を交互に表示させます。(交互に表示する状態にしないと解除できません。)

2	(運転/停止)ボタンを2回押して連動設定を解除します

●連動設定が解除となり右記の表示になります。



3-4-2 連動設定画面２での連動設定

●連動機を含むシステムのなかで、さらに次のようなシステムの場合連動設定画面２での連動設定が必要です。
本章の説明に従って設定操作を行なってください。
本機の他に連動機１専用のリモコンも設置するシステム……連動機１→連動機１用リモコン　の連動設定を行ないます。
連動機１からさらに連動運転させる連動機２があるシステム……連動機１→連動機２　の連動設定を行ないます。
本機の他に連動機２専用のリモコンも設置するシステム……連動機２→連動機２用リモコン　の連動設定を行ないます。

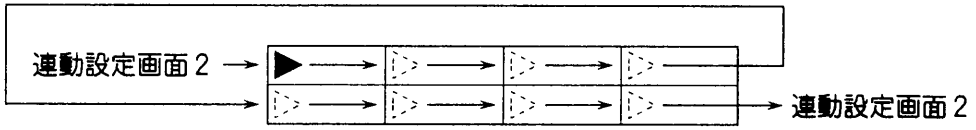
2-① 連動設定画面２の呼び出し

1	連動設定画面１を呼び出します

●24ページの初期設定モード画面の呼び出しと、34ページの連動設定画面１の呼び出しを参照して連動設定画面１にしてください。右上に〝連動〟が点灯します。

2	(グループ選択)ボタンで連動設定画面２を呼び出します

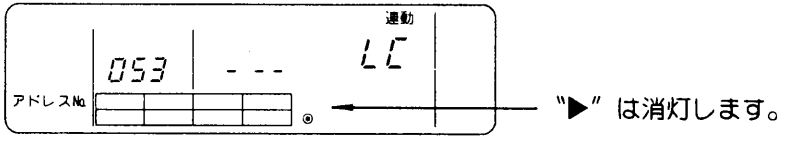
●(◀)ボタンを操作……〝▶〟が左方向へ移動
●(▶)ボタンを操作……〝▶〟が右方向へ移動
右記は(▶)ボタンの場合を示します。
(◀)ボタンの場合矢印とは逆方向の順に変わります。



●グループ１からさらに左方向へ、またはグループ８からさらに右方向へ移動させると、連動設定画面２を呼び出せます。
連動設定画面２では〝▶〟が消灯します。

●連動機１または連動機２が登録（連動設定）してある場合、そのうちで最小のアドレスNo.とユニットの種類を表示します。

●登録（連動設定）済みの連動機１が１台もない場合、アドレス表示部に〝---〟、室温表示部に〝--〟を表示します。この場合、連動設定画面２での設定はできません。連動設定画面１で連動機１を登録（連動設定）してから連動設定画面２での連動設定を行なってください。

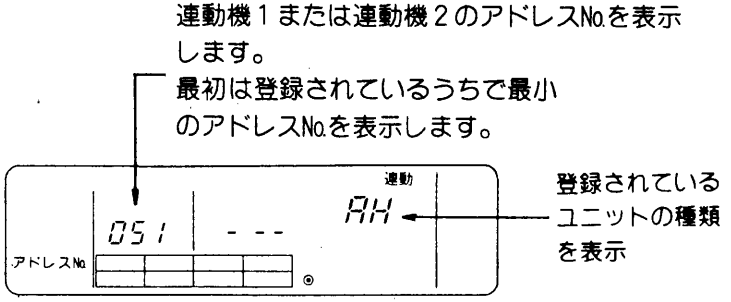


◎連動設定画面２

2-② 登録済みユニットの呼び出し

(風速切換)ボタンで連動元とする登録済みユニットを検索します

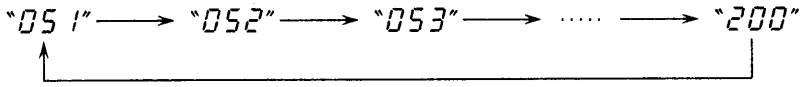
- (風速切換)ボタンを押すごとに連動機として登録済みの連動機1および連動機2のアドレスNo.を番号順に表示します。
- 連動機1→連動機2の連動設定を行なう場合は連動機1を呼び出します。
  連動機1→連動機1用のリモコンの連動設定を行なう場合は連動機1を呼び出します。
  連動機2→連動機2用のリモコンの連動設定を行なう場合は連動機2を呼び出します。

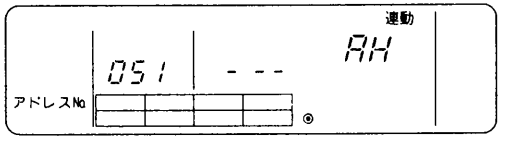


2-③ 連動機アドレスNo.の設定

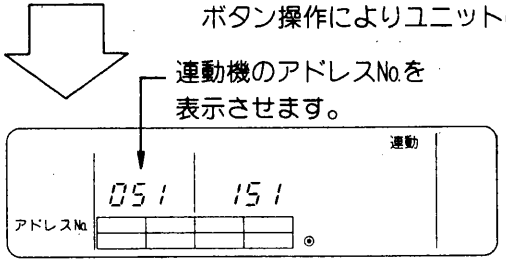
(室温調節)ボタンで連動機のアドレスNo.を表示させます

- 室温調節(▲)ボタンを押すごとに時刻表示部のアドレスNo.が右記の順に変わります。ボタンを押しつづけますと表示は早送りします。(連動機のアドレスNo.は51～です)
- (▼)は上記とは逆の順に変わります。
- ボタン操作によりユニットの種類の表示("AH"など)は消灯します。
- 連動機2として連動設定できる対象機器は、ロスナイユニット、フィルターユニット、エアハンドリングユニットです。(32ページ参照)
- 連動機1→連動機2の連動設定を行なう場合は連動機2のアドレスを表示させます。
  連動機1→連動機1用のリモコンの連動設定を行なう場合は連動機1用のリモコンのアドレスを表示させます。
  連動機2→連動機2用のリモコンの連動設定を行なう場合は連動機2用のリモコンのアドレスを表示させます。





ボタン操作によりユニットの種類の表示が消灯します。



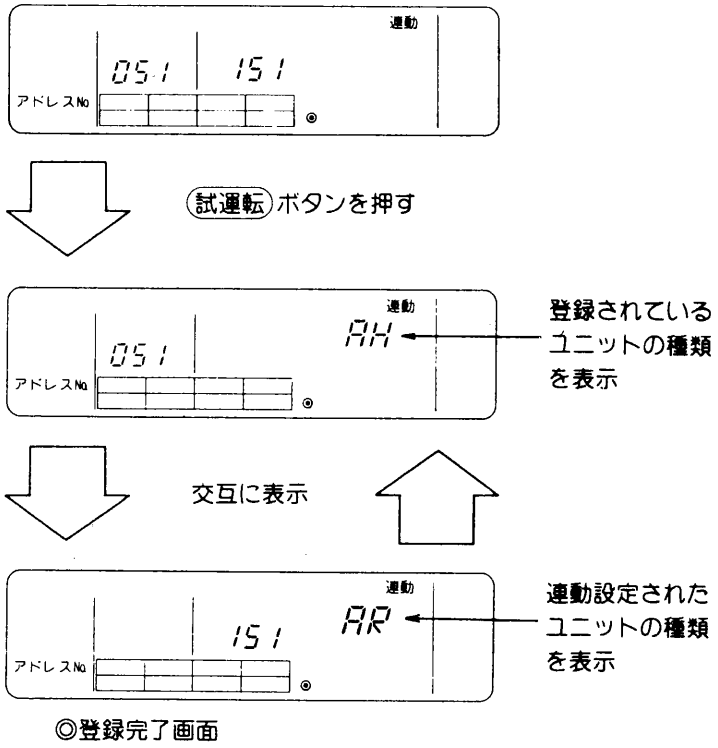
2-④ 連動機の登録

1 登録済みユニットと連動機のアドレスNo.を表示させます

2-② 登録済みユニットの呼び出し 、
2-③ 連動機アドレスNo.の設定 を行なって登録済みユニットと連動機のアドレスNo.を表示させます。

2 (試運転)ボタンを押して登録します

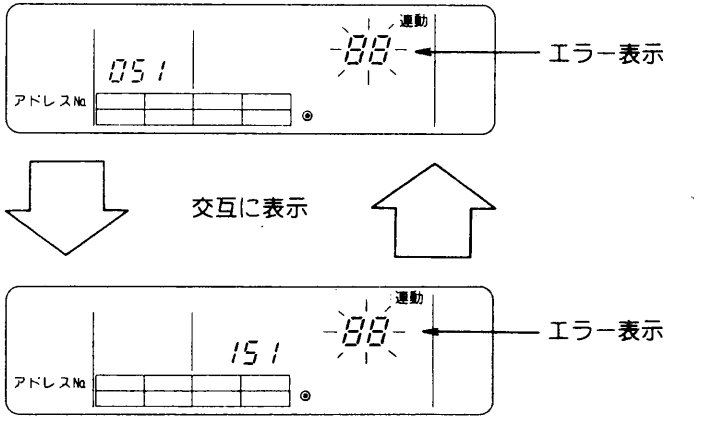
- 正常に登録されますと表示は右記の登録完了画面のようになります。（アドレスNo.０５１のエアハンドリングユニットにアドレスNo.１５１のエアハンリモコンを連動設定したことを示します）



◎登録完了画面

異常終了の場合

- 指定したユニットが存在しない場合、または伝送上異常がありますと、登録エラーを示す“88”が点滅します。
- この場合ユニットの存在を確認、または伝送線の接続などの確認を行なった後、もう一度登録作業を行なってください。



◎異常終了の場合

続けて次の連動設定を行ないたい場合

●次の連動設定を行ないたい場合、前ページの登録完了画面から右記の操作を再び順に行ないます。

2-② 登録ユニットの呼び出し
↓
2-③ 連動機アドレスNo.の設定
↓
2-④ 連動機の登録

2-⑤ 連動機の検索

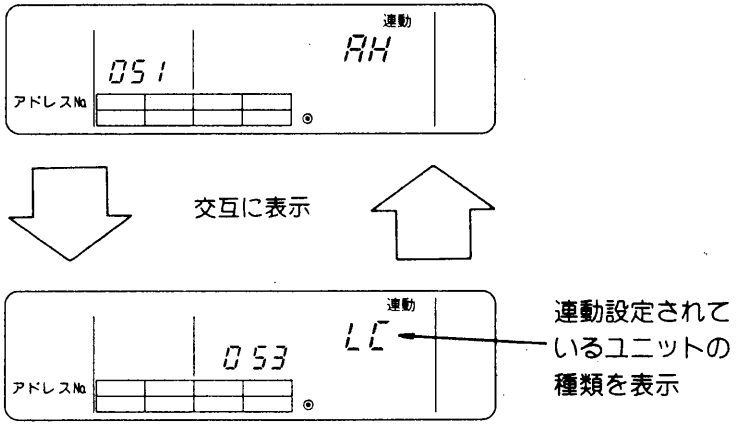
●次のような検索ができます。
連動機1のアドレスを検索条件として連動設定されている連動機2を検索および連動機1用のリモコンを検索する。
連動機2のアドレスを検索条件として連動設定されている連動機2用のリモコンを検索する。
※検索条件の連動元ユニットが連動機1であるか連動機2であるかは液晶表示部には表示されません。

1	検索したい連動元ユニットのアドレスNo.を表示させます

●下記操作を順に行ない検索したい登録済みユニットのアドレスNo.を表示させます。
2-① 連動機設定画面2の呼び出し
2-② 登録済みユニットの呼び出し

2	(点検)ボタンで検索します

●(点検)ボタンを押しますと表示されているユニットと連動設定されているユニットのアドレスNo.を交互に表示します。



2-⑥ 連動設定の解除

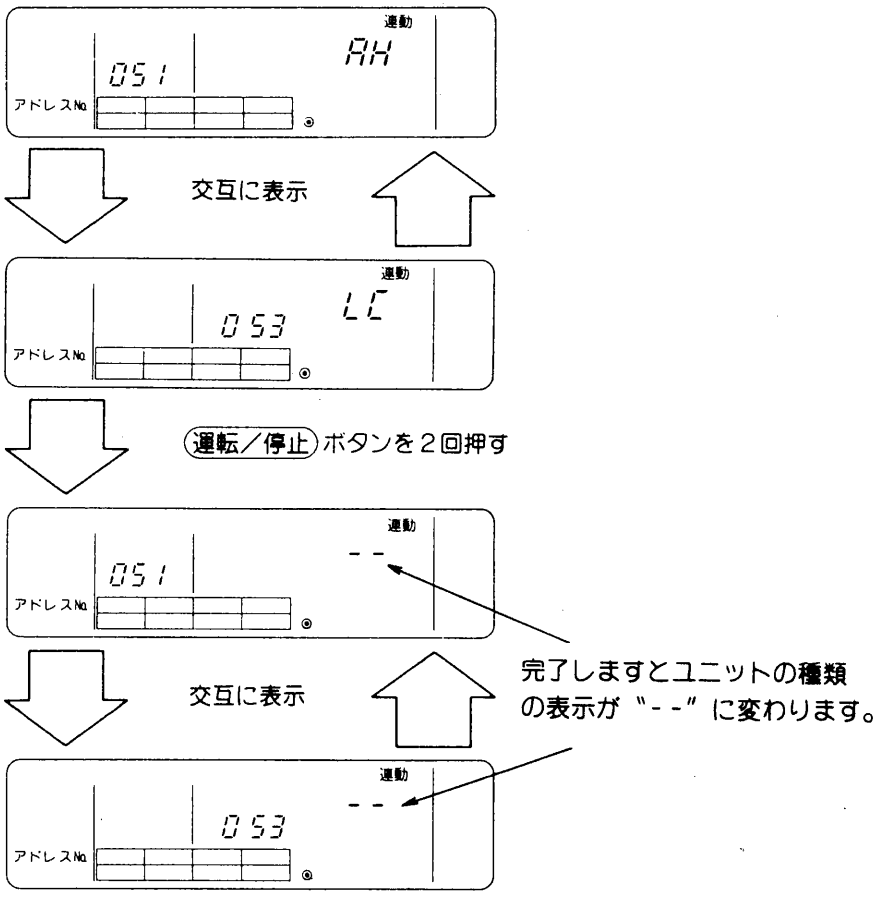
- 連動機１→連動機１用リモコン
  連動機１→連動機２
  連動機２→連動機２用リモコン
  の連動設定を解除できます。

1	連動設定されている機器を表示させます

- 2-⑥ 連動機の検索 または 2-⑤ 連動機の登録 が完了した画面にして連動設定を解除させたいユニットのアドレスNoを交互に表示させます。（交互に表示する状態にしないと解除できません。）

2	(運転／停止)ボタンを２回押して連動設定を解除します

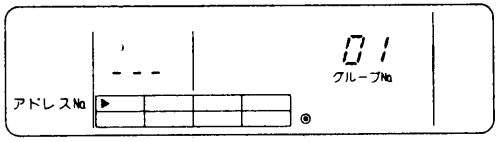
- 連動設定が解除となり右記の表示になります。



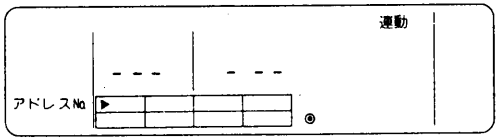
3-5 一括抹消

すべてのグループ設定情報、連動機設定情報を抹消します。

1	初期設定モード画面、連動設定画面１、または連動設定画面２を表示させます



◎初期設定モード画面

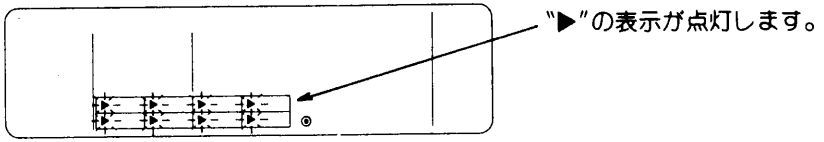


◎連動設定画面１（または連動設定画面２）

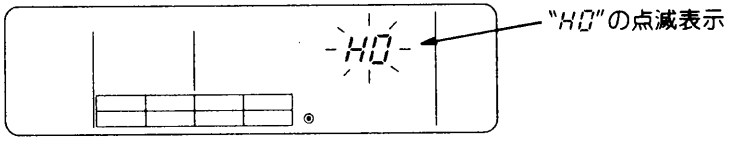
2	(運転／停止)ボタンを３秒以上押します

●設定した情報がすべて抹消されます。

(運転／停止)ボタンを３秒以上押し続ける。



◎一括抹消処理中



◎抹消完了（初期状態）

8 自己診断・異常履歴

1．自己診断

ユニットが記憶している異常内容の検索を行ないます。

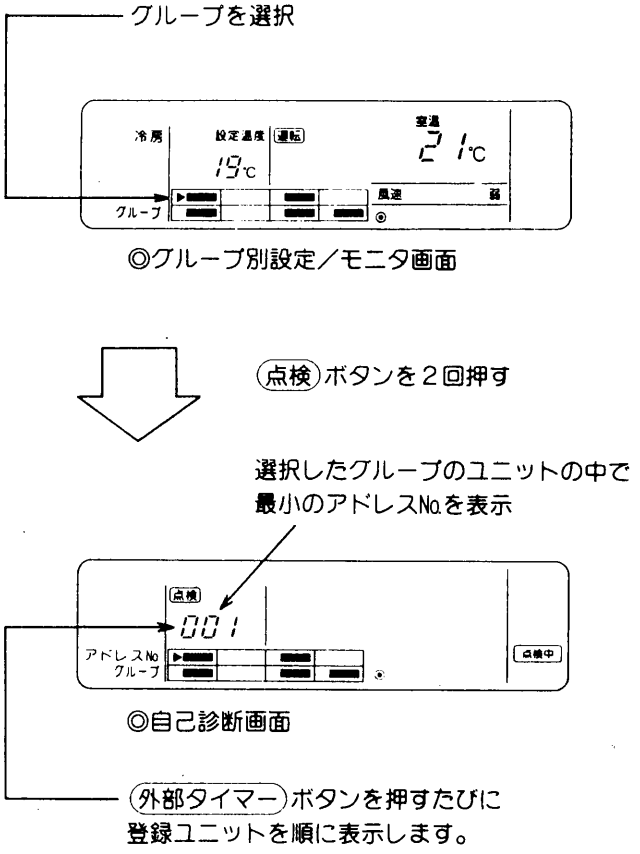
(1) 自己診断を行なうグループ選択します。

●操作部ドアを開けます。

●自己診断を行なうグループを、グループ選択 ◀ 、 ▶ ボタンにて選択します。

(2) 自己診断画面にします。

●(1)の画面で 点検 ボタンを２回押しますと自己診断画面になります。



(3) 自己診断を行ないたいユニットを選択します。
①、②いずれかの方法で選択します。

①外部タイマー ボタンを押すたびに登録されているユニットのアドレスNo.を小さい順に表示します。

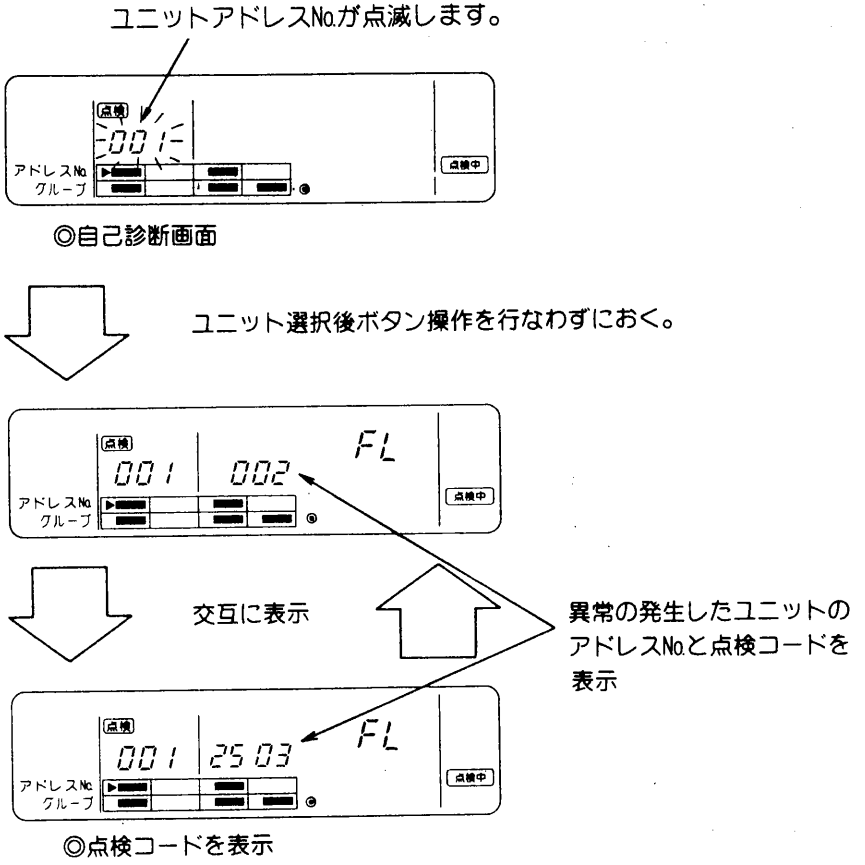
（例）アドレス００１、００２、０５１のユニットが登録されている場合。

"001" ⟶ "002" ⟶ "051"

②室温調節 ▲ 、 ▼ ボタンを押しますと任意にアドレスが表示できます。（００１～１００）グループまたは本機の管理とは関係なく選択できます。

(4) 点検コードを表示させます。

●ユニットを選択した状態でしばらくしますと右記のように点検コードを表示します。



●点検コードは次のように表示されます。

異常ありの場合 …… 4桁の数字

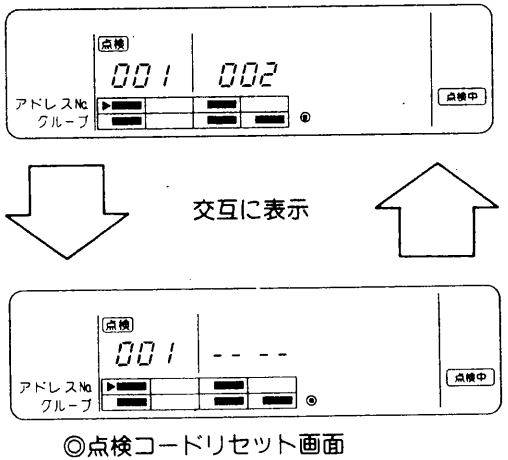
異常なしの場合 …… "----"

存在しないユニットを選択した場合 …… "FFFF"

(5) 点検コードのリセット

●(1)～(4)の操作を行ない点検コードの記録を消去（リセット）したいユニットを選択します。

●点検コードを表示させた状態で(運転切換)ボタンを2回押しますと記録されている点検コードは消去されます。



(6) 自己診断の終了

下記の①、②いずれかの操作を行なうことにより終了します。

①次の操作を行なうことにより自己診断は終了します。

- (一括運転／停止)ボタン
  この場合すべてのグループのユニットが停止します。
- (運転／停止)ボタン
  この場合選択されているグループのユニットが停止します。

②次の操作の場合自己診断を開始する前の運転状態に戻ります。

- 操作部ドアを閉める。
- グループ選択(◀)、(▶)ボタンを押す
- (点検)ボタンを２回押す

2．異常履歴モニタ

- 本機にユニットから送られ記録されている異常内容の検索を行ないます。

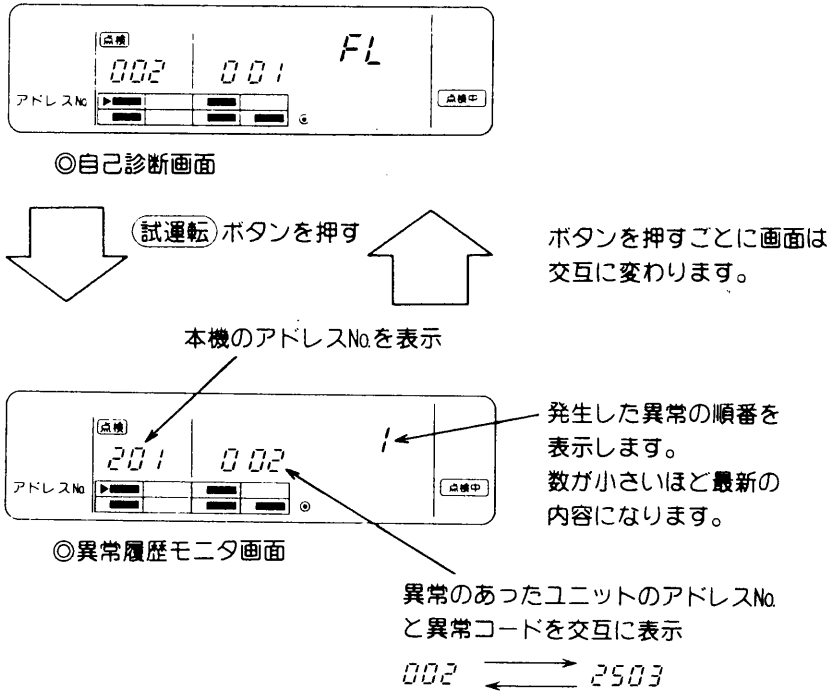
- 異常内容は最大で10個まで記録できます。

(1) 1．自己診断時の下記のいずれかの状態にします。

- (3) 自己診断を行なうユニットの選択画面
- (4) 点検コード表示中
- (6) 点検コードリセット後

(2) 異常内容の検索を行ないます。

- (試運転)ボタンを押します。
- この操作により異常履歴モニタ画面に変わります。



(3) 異常履歴の検索

- (外部タイマー)ボタン操作1回ごとに異常内容を1個ずつ表示します。
  一番古い異常内容または10個目の異常内容を表示した後は最新の異常内容に戻ります。

(4) 異常履歴のリセット

- (2)、(3)の状態で(運転切換)ボタンを2回押しますと記録されている異常履歴はすべて消去（リセット）されます。

(5) 異常履歴モニタの終了

下記のいずれかの操作を行なうことにより異常履歴は終了します。

- (試運転)ボタンを押す。
  自己診断画面に変わります。

- (7) 自己診断の終了操作を行なう。
  操作後の画面につきましては48ページ(6) 自己診断の終了の項目を参照ください。

三菱電機株式会社

静岡製作所　〒422 静岡市小鹿3-18-1　☎(054)285-1111〈大代表〉

KT79C083HO2